

# 参 考 资 料

## 三重県地域づくり推進条例

平成20年5月20日  
三重県条例第32号

少子高齢化の進展、住民の地域社会とのかかわり方の変化等に伴い、地域においては、集落の有する機能の維持等に関し、看過することのできない問題が生じてきている。

しかしながら、一方では、住民自治を実現し、自立的な地域社会の形成を図るため、地域社会の様々な課題の解決に向けた地域の多様な主体による活動が行われており、このような活動は、地域の活性化にとって不可欠である。

地域の活性化の実現は、一朝一夕には成し得ない永遠の課題であるが、地域の多様な主体の協働による地域の資源や特性を生かした活動が活発に行われるためには、多様な主体が、地域づくりに関し共通の認識を持ち、共に取り組むことが必要である。

ここに、地域づくりに関する基本理念を明らかにしてその方向を示し、地域の多様な主体の協働による地域づくりが推進されるよう、この条例を制定する。

### (目的)

第1条 この条例は、地域づくりが自立的な地域社会の形成において重要な役割を果たすものであることにかんがみ、地域づくりに関し、基本理念を定めるとともに、県の役割等を明らかにすることにより、多様な主体の協働による地域づくりが推進され、もって個性豊かで活力ある地域社会の実現を図ることを目的とする。

### (定義)

第2条 この条例において、「地域づくり」とは、住民、事業者、市町、県その他の多様な主体が、地域社会の課題の解決に向け、自然、歴史、文化等の地域の資源や特性を生かし、地域社会の維持及び形成に資するために行う、県内各地域における持続的な活動をいう。

### (基本理念)

第3条 地域づくりは、次に掲げる事項を基本理念として推進されるものとする。

- 一 地域社会の課題の解決のため、地域社会を支える多様な主体の協働により、その展開が図られること。
- 二 地域社会が住民の生活の場として、将来にわたって魅力あるものとなるよう、地域の資源や特性を生かし、地域経営の観点から持続的な活動が行われること。

### (県の役割等)

第4条 県は、住民をはじめとする多様な主体と対等の立場において信頼かつ協調の関係を保持し、多様な主体の意見が反映された地域づくりが円滑かつ効果

的に行われるよう必要な仕組みを構築し、機能させるものとする。

- 2 知事は、前項の規定により仕組みを構築しようとするときは、その仕組みを議会に示さなければならない。
- 3 前項に規定する仕組みは、この条例の趣旨を尊重し、知事が定めるものとする。

(議会への報告)

第5条 知事は、毎年、前条第二項の規定により議会に示した仕組みに基づく地域づくりの実施状況について、議会に報告するとともに、これを公表しなければならない。

(議会の役割)

第6条 議会は、地域づくりに関し、三重県議会基本条例（平成18年三重県条例第83号）の趣旨にのっとり、知事等の事務の執行の監視及び評価、政策立案及び政策提言等に努めなければならない。

附 則

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 この条例の規定については、この条例の施行の状況を勘案し、必要があると認められるときは検討が加えられ、その結果に基づいて必要な措置が講ぜられるものとする。

## 県と市町の地域づくり連携・協働協議会規約

### 第1章 総則

#### (名称)

第1条 本協議会は、県と市町の地域づくり連携・協働協議会（以下「協議会」という。）と称する。

#### (目的)

第2条 協議会は、県と市町が連携の強化をはかり、協働して地域づくりの基盤を整備し、地域づくりを推進することにより、地域主権社会の実現を目指すものとする。

#### (協議等事項)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事項を協議又は研究する。

- (1) 地域づくりにおける県と市町の連携・協働及び適正な役割分担のあり方に関する事項
- (2) 地域主権社会の実現に向けた県から市町への分権に関する事項
- (3) 県と市町における行政分野の専門性の向上に寄与する事項
- (4) その他協議会の目的達成のために情報共有及び検討が必要な事項

### 第2章 組織

#### (協議会の構成及び運営)

第4条 協議会は、別表に掲げる者をもって構成する。

- 2 協議会における会議は、全県的な政策課題等を取り扱う全県会議、及び各地域における地域課題等を取り扱う地域会議で構成する。
- 3 協議会の運営は、三重県、三重県市長会及び三重県町村会が協働して行うものとする。
- 4 会議、会議録及び会議に提出した文書は公開とする。
- 5 会議の運営に関しては、公平かつ公正な協議の推進に努めなければならない。

#### (役員)

第5条 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 三重県知事
- (2) 副会長 三重県市長会会長、三重県町村会会長及び三重県政策部を担任する副知事

#### (役員の仕事)

第6条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。

(事務局)

第7条 協議会の事務局は、三重県政策部に置く。

2 次条に規定する全県会議は政策部担当室が所管し、第15条に規定する地域会議は県民センター担当室が所管する。

### 第3章 全県会議

(全県会議)

第8条 全県会議は、総会及び第13条に規定する調整会議（以下この章において「調整会議」という。）で構成する。

2 全県会議には、第3条に規定する事項の協議等を行うため、調整会議の決定に基づき第14条に規定する検討会議（以下この章において「検討会議」という。）を設置することができる。

(総会)

第9条 総会は、会長が招集する。

(総会の決定事項)

第10条 総会は、次に掲げる事項について決定する。

(1)第3条の規定による協議等事項の対応方針

(2)前号の規定によるもののほか、協議会の運営に関する重要事項で、会長が必要と認める事項

(総会の議長)

第11条 総会の議長は、会長が指名する者とする。

(総会の定足数)

第12条 総会は、協議会の構成員（又はその代理人）の半数以上の者が出席しなければ、開会することができない。

(調整会議)

第13条 調整会議は次に掲げる事項について決定又は協議する。

(1)第3条に規定する事項に係る具体的な協議内容等

(2)第8条第2項の規定による検討会議の設置

(3)第10条に規定する総会における決定事項及び総会への報告事項

(4)第17条に規定する地域会議の調整会議への提案事項

2 調整会議は、市町企画担当課（室）、三重県部局主管室及び県民センター担当室の職員で構成する。

3 調整会議は、必要に応じて前項に掲げる者以外の者の出席を求めることができる。

4 調整会議は、三重県政策部担当室長が招集する。

(検討会議)

第14条 検討会議は、調整会議の決定により設置し、定められた事項について協議等を行う。

- 2 検討会議は、協議等に関係する市町、三重県部局及び県民センターの職員で構成する。
- 3 検討会議は、必要に応じて前項に掲げる者以外の者の出席を求めることができる。
- 4 検討会議は、構成する者の中から互選された代表者が招集する。
- 5 前各項に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項は、調整会議で別に定める。

第4章 地域会議

(地域会議)

第15条 地域会議は、トップ会議及び第17条に規定する調整会議（以下この章において「調整会議」という。）で構成する。

- 2 地域会議には、第3条に規定する事項のうち地域における課題について協議等を行うため、調整会議の決定に基づき第18条に規定する検討会議（以下この章において「検討会議」という。）を設置することができる。
- 3 地域会議は、原則として県民センターを単位として開催するが、協議等を行う課題に応じて、複数の県民センター又は個別の市町等を単位として開催することができる。

(トップ会議)

第16条 トップ会議は、第3条に規定する事項のうち地域における課題について、包括的な意見交換を行い、県と市町のパートナーシップの構築や相互理解を促進するため開催する。

- 2 トップ会議は、原則として県民センター管内の市町長、三重県知事及び県民センター所長で構成する。
- 3 トップ会議は、必要に応じて別表に掲げる者及び前項に掲げる者以外の者の出席を求めることができる。
- 4 トップ会議は、県民センター所長が招集する。

(調整会議)

第17条 調整会議は次に掲げる事項について決定又は協議する。

- (1)第3条に規定する事項のうち地域における課題に係る具体的な協議内容等
  - (2)第15条第2項の規定による検討会議の設置
  - (3)第16条に規定するトップ会議への報告事項
  - (4)第13条に規定する全県会議の調整会議への提案事項
  - (5)その他協議会の目的達成のために地域において県と市町の調整が必要な事項
- 2 調整会議は、県民センター管内の市町関係部課（室）長、県民センター所長及び県民センター担当室長で構成する。

- 3 調整会議は、必要に応じて前項に掲げる者以外の者の出席を求めることができる。
- 4 調整会議は、県民センター所長が招集する。

(検討会議)

- 第18条 検討会議は、調整会議の決定により設置し、定められた事項について協議等を行う。
- 2 検討会議は、協議等に関係する県民センター管内の市町、県民センター及び三重県の地域機関等の職員で構成する。
  - 3 検討会議は、必要に応じて前項に掲げる者以外の者の出席を求めることができる。
  - 4 検討会議は、県民センター担当室長が招集する。

(その他)

- 第19条 第15条から前条までに定めるもののほか、トップ会議、調整会議及び検討会議の運営に関し必要な事項は、調整会議で別に定める。

第5章 経費等

(経費)

- 第20条 協議会の運営に係る経費は、三重県、三重県市長会及び三重県町村会の三者が負担し、その負担割合は三者が協議し決定する。

(雑則)

- 第21条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 第1条 この規約は、平成21年2月10日から施行する。

(県と市町の新しい関係づくり協議会規約の廃止)

- 第2条 「県と市町の新しい関係づくり協議会規約(平成18年4月1日制定)」は、これを廃止する。

(経過措置)

- 第3条 この規約の施行の日(以下この条において「施行日」という。)以前に「県と市町の新しい関係づくり協議会規約」第14条第1項の規定により設置された検討部会は、施行日以後において、第14条の規定により設置された検討会議とみなす。
- 2 この規約の施行日以前に、三重県が定めた「県と市町の地域づくり支援会議設置要綱(平成19年5月22日制定)」第6条の規定により設置された課題会議は、施行日以後において、第18条の規定により設置された検討会議とみなす。

附 則

- この規約は、平成21年4月1日から施行する。

別 表 (第4条、第5条、第16条関係)

県と市町の地域づくり連携・協働協議会 名簿

役職名		役職名	
会 長	三重県知事		三重県知事
副会長	三重県市長会会長		三重県副知事
	三重県町村会会長		政策部長
	三重県副知事		政策部理事 (地域支援担当)
委 員 (市町)	津市長	委 員 ( 県 )	政策部理事 (「美し国おこし・三重」担当)
	四日市市長		政策部東紀州対策局長
	伊勢市長		総務部長
	松阪市長		防災危機管理部長
	桑名市長		生活・文化部長
	鈴鹿市長		健康福祉部長
	名張市長		健康福祉部理事
	尾鷲市長		健康福祉部こども局長
	亀山市長		環境森林部長
	鳥羽市長		環境森林部理事
	熊野市長		農水商工部長
	いなべ市長		農水商工部理事
	志摩市長		農水商工部観光局長
	伊賀市長		県土整備部長
	木曾岬町長		県土整備部理事
	東員町長		会計管理者兼出納局長
	菰野町長		企業庁長
	朝日町長		病院事業庁長
	川越町長		教育長
	多気町長		警察本部長
	明和町長		桑名県民センター所長
	大台町長		四日市県民センター所長
	玉城町長		鈴鹿県民センター所長
	度会町長		津県民センター所長
	大紀町長		松阪県民センター所長
	南伊勢町長		伊勢県民センター所長
	紀北町長		伊賀県民センター所長
	御浜町長		尾鷲県民センター所長
紀宝町長	熊野県民センター所長		



## (全県会議) 検討会議の運営に関する規程

### (趣旨)

第1条 県と市町の地域づくり連携・協働協議会（以下「協議会」という。）規約第14条第5項の規定により、協議会の全県会議に設置する検討会議（以下「検討会議」という。）の運営に関し必要な事項を次のとおり定める。

### (所掌事項)

第2条 検討会議は、協議会規約第3条の規定による協議等事項のうち、調整会議で決定された事項を専門的に協議又は研究する。

### (組織)

第3条 検討会議は、県及び市町の職員で構成する。ただし、必要に応じて学識経験者を構成員又は助言者として招聘することができる。

- 2 検討会議に代表及び副代表を置く。
- 3 検討会議の代表及び副代表は、検討会議の構成員の互選により選任する。
- 4 検討会議は、必要に応じてワーキンググループを設置することができる。

### (代表及び副代表の職務)

第4条 代表は、検討会議を代表し、会務を総理する。

- 2 代表は、協議等事項についての意見調整に努めなければならない。
- 3 副代表は、代表を補佐し、代表に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。

### (検討会議の開催)

第5条 検討会議は、代表が招集する。

- 2 検討会議は、必要に応じて第3条の規定による構成員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

### (協議等計画書の作成)

第6条 検討会議は、協議会会長から指示を受けた事項について、別紙様式1により「協議等計画書」を作成しなければならない。

### (協議等経過報告書の作成)

第7条 検討会議は、前条の規定による「協議等計画書」に沿って協議等を行うとともに、別紙様式2により「協議等経過報告書」を協議等の都度作成しなければならない。

(協議等経過及び結果の報告)

第8条 検討会議は、第6条及び前条の規定による「協議等計画書」及び「協議等経過報告書」をもとに、協議等経過及び結果を直近に開催する協議会総会に報告しなければならない。

附則

(施行期日)

この規程は、平成21年5月18日から施行する。

検討会議協議等計画書

協議等テーマ	
目的	
検討事項	
具体的な協議等スケジュール	
メンバー	

別紙様式2 (第7条関係)

検討会議協議等経過報告書

日時・場所	
参加者	
議題	
意見の概要	
決まったこと	
その他	
次回開催日・場所	
作成者	

「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」登録パートナーグループ一覧(平成21年5月～平成23年3月登録分)

※ 市町別 累計:263団体

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
桑名市	くいな せんぼ づる ひろ かい 桑名の千羽鶴を広める会	桑名市	いなべ市、東員町、 四日市市、菟野町、 朝日町、川越町、鈴 鹿市、亀山市、松阪 市、伊勢市	観光振興、文化芸 術、教育、福祉、総 合的なまちづくり、祭 り・イベント	教材にも使える、折り方を記した安価な 本をつくり、桑名市の無形文化財である 「桑名の千羽鶴」を国内外の多くの人た ち、特に子どもたちに伝えていく。	平21年 6月
桑名市	ぐるーぷ マダム じゅじゅ さんの会)	桑名市	-	観光振興、文化芸 術、総合的なまちづ くり	桑名特産の「はまぐり」の貝殻を使った 桑名土産「まち雛」を作成しており、今後、 この活動を更なる地域の活性化につな げ、伊勢の国の玄関としての桑名をア ピールしていく。	平21年 6月
桑名市	たど ががく かい 多度雅楽会	桑名市	県外(東京都 他)	観光振興、文化芸 術、総合的なまちづ くり、祭り・イベント	桑名地方の雅楽は歴史も古く、古式に 則った舞楽会を復興し、春と秋に桑名六 華苑で定期演奏会を開催している。「美 (うま)し国三重」の文化を高める市民活 動として、舞楽会の上演機会を拡大す るとともに、童舞の普及継承事業等を通じ て、会員の拡大をめざしていく。	平21年 9月
桑名市	とくいてい ひえいり かつどうほうしん きそ さんせん 特定非営利活動法人 木曾三川 ごみの会	桑名市	木曾岬町、東員町、 朝日町、県外(岐阜 県)	環境保全、景観形 成、海づくり、教育、 総合的なまちづくり、 祭り・イベント	木曾三川・員弁川流域を中心に清掃活 動を行うとともに、木曾川右岸の公園「水 辺の楽校」の管理を行っている。水辺の 遊び場、自然体験の場、自然学習の場の 提供を通じた地域住民に親しまれる公園 づくりを進めていく。	平21年 10月
桑名市	むちく かい 桑竹会	桑名市	-	環境保全、森づく り、産業振興	担い手不足を背景に荒廃化した竹林を 整備するとともに、伐採した竹に新たな価 値を付加する取組を進めることで、竹林 の自立・持続可能な管理のしくみづくりを めざしていく。	平21年 10月
桑名市	えむあいてい MITラボ	桑名市	四日市市、鈴鹿市	総合的なまちづくり、 祭り・イベント、その 他(ICT)	ICT(情報コミュニケーション技術)ツ ールを利用して「美(うま)し国おこし・三重」 を盛り上げるとともに、各パートナーグ ループが情報発信の面で自立できるよう に側面的に支援していく。	平22年 5月
桑名市	くいな かい 桑名ハンドメイドの会	桑名市	東員町	文化芸術、教育、祭 り・イベント	手作りの品の良さを伝え、ハンドメイドの 仲間づくりを行うため、ハンドメイドマ ーケットin桑名を開催している。他のパート ナーグループとの交流を通じてノウハウを 蓄積し、活動を継続するとともに、ハンドメ イド技術を提供することで、授産施設と地 元高校のボランティア部との協働を進め るなど、地域貢献に繋げていく。	平22年 6月
桑名市	のうち みず かんきょうほぜんかい ななわ農地・水・環境保全会	桑名市	東員町	食、環境保全、景観 形成、産業振興、観 光振興	子どもたちの農業体験や地域での交流 イベントを通じて、農業の将来的な継承・ 発展や地域の環境保全、住民同士の絆 づくりを実現していくことで地域の活性化 に貢献していく。	平23年 1月
桑名市	NPO 福祉ネット どんぐり	桑名市	いなべ市、木曾岬 町、東員町、朝日 町、川越町	観光振興、健康、医 療、福祉、祭り・イ ベント	音楽活動や元気体操等の知識や経験 を生かし、主に高齢者を対象とした肉 体的、精神的なケアを行う活動を桑名を中 心に北勢地区で展開するとともに、北勢 線を利用した「歌声サロン列車」を実施す るなど、地域住民の健康増進と地域間交 流にも貢献していく。	平23年 3月
いなべ市	NPOみんなのクラブネット 三重	いなべ市	-	森づくり、観光振 興、教育、保健、福 祉、総合的なまちづ くり、祭り・イベント	県内のクラブ(いなべ市、菟野町、大台 町、紀宝町)の特徴を生かした総合型地 域スポーツクラブ「みんなのクラブネット」 を立ち上げ、「地域ネットワークによる事 業の創出」に取り組む。これを県内外に展 開し、元気な三重県、元気な地域づくりに 貢献していく。	平21年 6月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
いなべ市	シズカナオニワ ~おいしくたべるライフデザイン三重	いなべ市	桑名市、木曾岬町、東員町、四日市市、朝日町、川越町、菟野町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町、県外(東京)	食、文化芸術、保健、医療	活動のキーコンセプトは、キレイ、カワイイ、カッコイイの3Kです。食、精神衛生、口腔衛生を組み合わせ、「おいしく食べるライフデザイン」につながるレシピブックを製作するとともに、滞在することで癒し効果をはかる「いなべヒーリングステイ」を具体化することで、カッコイイいなべ暮らしのイメージを発信していく。	平22年 1月
木曾岬町	ごたーげさん	木曾岬町	-	食、環境保全、産業振興、教育	受け継がれてきた木曾岬ならではの郷土料理や木曾岬町の特産物を使った新たなレシピづくりを行うとともに、田畑を地域の集いの場と見立て、料理を通じた世代間交流を行い、町おこしを展開していく。	平21年 10月
東員町	とくいていひえいり かつどうほうじん ちいき たす 特定非営利活動法人 地域お助けネット	東員町	-	教育、福祉	住民間に互助の精神を育み、その精神を以て、住民の福祉の増進、生活環境の改善などを目的とする活動を行い、住みよいまちづくりをめざす。	平21年 7月
東員町	まつ かい 松の会	東員町	津市、県外(愛知県)	文化芸術	七世松本幸四郎丈の生誕地である東員町において、「こども歌舞伎」の育成、発表会の開催、歌舞伎公演の鑑賞、研修及び講演会の実施等を行っていく。	平21年 8月
東員町	NPO法人 ほうじん なま 生ごみリサイクル 思考の会	東員町	桑名市、いなべ市	環境保全、総合的なまちづくり	「ごみゼロ社会の実現」をミッションとし、地域のゴミ減量の活動を行っている。住民の環境への関心を高めることを目的に、環境啓発、情報発信等の場として「エコの館」を設置、運営しており、その集客力を高めるしくみづくりを行う。	平21年 9月
東員町	とういんボランティア市民活動支援センター運営委員会	東員町	-	食、環境保全、文化芸術、教育、防災、保健、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	東員町におけるボランティア・市民活動の推進をはかる中間支援組織として、今後「美(うま)し国おこし・三重」を活用して、委員のスキルアップをはかるとともに、さまざまな団体とのつながりを構築し、東員町を中心に活動する地域活動団体から親しまれ、頼りにされるセンターとなることで地域振興に寄与していく。	平21年 11月
東員町	とういんちようしんしんしょうがいじしやおや かい 東員町心身障害児者親の会	東員町	-	教育、保健、医療、福祉	障がい児者の保護者が、障がいを持つ子らが地域の中で幸せに生活できるように機会や場を設けていくことについて、一緒に考え互いに支えあう関係を築いていくため、懇親を目的としたバス旅行や福祉祭への参加などを行っている。今後は、幅広い年齢層を対象に、課題への対応を勉強する機会や、気軽に参加できる場を提供することで新規参加者に対する魅力づけを行い、会の継続性を高めていく。	平21年 12月
東員町	とういんちよう 東員町ふらわあ〜びれっじ運営協議会	東員町	-	食、環境保全、景観形成、産業振興、総合的なまちづくり	東員町の施設である「ふらわあ〜びれっじ」にて朝市を開催し、住民相互の交流の場に繋げている。団体への参加人数が少なく、情報収集や発信の量が乏しいこと、効果的な朝市の運営方法の確立などの課題を解決し、持続可能な組織運営、及び、開催回数と参加人数の増大をめざし、地域の活性化に貢献していく。	平22年 7月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
東員町	ひえいり かつどうほうじんういん 非営利活動法人w-in	東員町	桑名市、いなべ市、木曽岬町、四日市市、菰野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町	文化芸術、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	行政施策には少子化対策事業があるものの、結婚に至るプロセスの援助がないため、それを支援するため、地元の未婚者が知り合う婚活イベントを企画、実施していく。 イベントは、独身者に地域の良さを再認識していただけるよう、地域活動に参加できるイベントや、地域独自の名産品・名所にちなんだものとしていく。	平23年 2月
四日市市	みえの食と産業推進協議会 しよく さんぎょうすいしんぎょうぎかい	四日市市	-	食、産業振興、教育、保健	萬古焼をはじめとする地元の産業と協働して、地元食材を活用した商品開発を行い、地域産業の活性化をはかるとともに、食育の推進や医食同源等の取組を展開していくなど、食を切り口として県内のさまざまな団体と連携することにより、地域活性化・地域のまちづくりに取り組む。	平21年 8月
四日市市	みえ 三重・とらいあんぐる	四日市市	県外(国内の商店街活性化の課題を抱える地域)	食、産業振興、観光振興、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(一、二、三次産業支援)	「中心市街地活性化」、「地産地消」、「地域福祉」を連携させた新たな形での地域活性化に取り組む。	平21年 8月
四日市市	がいず ゆめじつげん GUY'S『夢実現』	四日市市	-	産業振興、総合的なまちづくり、祭り・イベント	四日市を活性化し、三重県全域を元気にしていくため、「就活応援バザール」を開催するなど、若者に地元で働くことの素晴らしさを伝え、若者が元気に働き、将来に夢が描ける四日市をつくっていくことで、地域振興、産業振興をはかるとともに、若者の地元愛を育み、地域の絆を深める取組を行っていく。	平21年 9月
四日市市	よっかいち ちいき 四日市地域まちかど博物館推進委員会 はくぶつかんすいしん	四日市市	菰野町、朝日町、川越町	総合的なまちづくり	自慢のコレクションや、職人技、伝統産業など、地域が育んださまざまな文化資産を、「四日市地域まちかど博物館」として広く紹介するとともに、訪れる人と館長とのあたたかい交流の場を通じて、気軽に文化に触れることのできる身近なネットワークをつくることで、地域を元気にする取組を進めていく。	平21年 11月
四日市市	おかやま あい かい グリーンパーク岡山を愛する会	四日市市	-	環境保全、景観形成、森づくり	地域の里山である岡山を、地区住民自らがそのあり方を考え、整備していくことにより、住民同士の交流をはかり、明るく楽しい地域づくりを実践していく。	平21年 12月
四日市市	とくてい ひえいり かつどうほうじん 特定非営利活動法人 サンライズ、魂 どっとこん	四日市市	-	産業振興、文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント	「三重県市民文化作品展」等の開催を通じて、文化活動に取り組む人々が、楽しみや生きがいを持ちながら活動を継続できるよう支援していく。また、講演・ワークショップ等の開催を通じて、参加者同士のネットワーク化をはかり、活力ある地域社会づくりに寄与していく。	平21年 12月
四日市市	よっかいち ちいき まるごと四日市地域ブランド	四日市市	-	食、文化芸術、産業振興、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(地域ブランド)	四日市の“すごい”を、四日市ブランドとして認定し、それらを使った料理をつくるなど、四日市の文化をかたちにしていく活動に取り組むとともに、“すこいやんねえ、よっかいち”を合い言葉に、“ほんまに美しいまち四日市”にありがとうの言葉を添えて、四日市の“すご〜い”を全国に発信していくことで、四日市の活性化をはかっていく。	平21年 12月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
四日市市	やるっち倶楽部	四日市市	桑名市、いなべ市、東員町、菰野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、津市	総合的なまちづくり、祭り・イベント	商店街に賑わいを取り戻すため、主婦等の手作り品を販売する「なちゆるる市場」を商店街で定期的に開催していく。出展者に対しては、場の提供だけでなく、販売・陳列方法や販売トーク、広告宣伝方法のセミナーを実施するなどの起業支援を行っていくことで、将来的には商店街の空き店舗対策にもつなげていく。	平22年 3月
四日市市	NPO法人 三重ダアマ・ヨガ道会	四日市市	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町、県外(東京都、愛知県、大阪府)	教育、保健、福祉、祭り・イベント	介護予防等へのヨガの活用などにより、子どもから高齢者まで生き生きと生活できる元気な地域を作っていくことで、地域社会に貢献していく。	平22年 3月
四日市市	四日市ウミガメ保存会	四日市市	菰野町	環境保全、海づくり、教育	四日市のイメージを「公害の街」から「ウミガメの街」に変えていくため、コンビナートの近くにも綺麗な海岸があることや、そこへアカウミガメが産卵に来ていることを広くアピールしていく。子どもから高齢者まで幅広く参加する海岸清掃や勉強会、産卵調査等を実施することにより、環境保護や環境教育を進めていく。	平22年 3月
四日市市	コムレスネットこらぼ屋	四日市市	津市、全国	食、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(コミュニティの再生)	飲食店を活用してコミュニティを再生するワンディシェフ・システムの普及を行うとともに、それらをネットワークすることで、信頼と安心でつながる社会の実現をめざしていく。	平22年 5月
四日市市	「太陽の宴」実行委員会	四日市市	桑名市、菰野町、鈴鹿市、津市	食、環境保全、文化芸術、祭り・イベント	2008年から実施している三重県最大級の音楽フェス「太陽の宴」を通じて、地域や若者を元気にしていくとともに、「太陽の宴」におけるエコの取組や、毎月実施しているスタッフによるゴミひろい(「エコウォーク」)を通じ、幅広くエコロジーに対する意識の向上をはかっていく。	平22年 5月
四日市市	特定非営利活動法人 市民社会研究所	四日市市	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町、東京都、愛知県、滋賀県、島根県、沖縄県	教育、総合的なまちづくり、その他(人権)	中間支援組織の体系的な組織化やコミュニティビジネスの創造を通じて、公共を担う市民を育成していくとともに、活力ある市民セクターをつくることをめざしていく。	平22年 5月
四日市市	NPO法人 森林の風	四日市市	桑名市、菰野町、鈴鹿市、亀山市、津市	環境保全、景観形成、森づくり	自然環境保護に寄与するため、人工林の森林施業等により、未来に継承するための森林づくりを行うとともに、緑の大切さを伝える事業を行っていく。	平22年 5月



市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
四日市市	高齢者と障がい者の暮らしと住まいの研究会	四日市市	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市、津市	健康、福祉、総合的なまちづくり	福祉住環境にかかわる業種の連携をはかり、研修を通じてそれぞれの知識を共有するとともに、高齢者や障がい者に対し、無料相談会というかたちで住環境についての具体的なアドバイスを行うことで、地域社会に貢献していく。	平22年 6月
四日市市	特定非営利活動法人 呼夢・フレンズ	四日市市	菰野町	食、産業振興、教育、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	障がいのある人が仕事を確保し、地域の一員として安心して生活していけるよう、必要な支援を行うことで、障がいの有無にかかわらず、皆が共に生きる社会の実現をめざしていく。	平22年 6月
四日市市	愛 Mam's IT 倶楽部	四日市市	菰野町	文化芸術、教育、祭り・イベント、その他(女性のITによる支援)	パソコンとインターネットを使って、女性たちの「精神的な自立」を応援＆サポートしていくため、ツイッターなどのセミナーや体験会等を通じて、自分の「好き」を探したり、新しい自分に出会ったりする場を提供するとともに、輝いている女性たちのネットワークづくりを行っていくことで、女性の就労や起業を促し、地域の活性化に貢献していく。	平22年 7月
四日市市	結縁屋台ねぎやき茶屋	四日市市	菰野町、鈴鹿市	食、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	HOPE RENDER SOCIETY～社会に夢を表現しよう～をテーマに、障がいのある仲間たちが、自立に向けて働く練習をする福祉就労と一般就労の橋渡しになる場所づくりをめざすとともに、お客様やサロン利用者、地域の人たち、ボランティア、イベント参加者など、結縁屋台に関わるたくさんの人たちと連携して、ハートのバリアフリーを広げ、地域の人たちがいつでも気軽に立ち寄ることができる、常設サロンの地域定着をめざしていく。	平22年 8月
四日市市	Agriロマン四日市サルビア	四日市市	朝日町	食、産業振興、教育、祭り・イベント、その他(食育、農村地域の活性化、男女共同参画推進)	農業の現状を広く知ってもらえるよう地域のさまざまなイベント等と連携し、地域の幅広い年齢層の住民との交流を深めていくとともに、高校生等への食育活動を通じて郷土食を伝えていくことで、過去から伝承されてきた農村の食文化を次の世代へ継承していく。	平22年 9月
四日市市	ふるさと三重を愛する会	四日市市	-	文化芸術、総合的なまちづくり	自然を守り、文化、史跡、天然記念物を大切にいくため、説明板や案内板等の関係施設の整備を進め、住民のふれあいを深めるとともに、後世に伝えていくための地域づくりを推進していく。	平22年 9月
四日市市	めっちゃ☆Happy's	四日市市	鈴鹿市	環境保全、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	キャンドルナイト等のイベントを通じて、地域内外の交流を深めるとともに、環境問題を楽しく子どもたちに伝えていくことで、地域の活性化につなげていく。	平22年 10月
四日市市	穀物料理提案 素輪花	四日市市	県内ならどこでも可能	食、環境保全、産業振興、観光振興、教育、健康、福祉、総合的なまちづくり	地域の吟味した食材を使った、特許を含む調理の普及・商品開発を行い、地域の活性化と健康的な地場産業の創出をめざすとともに、食・健康・環境のつながりをトータルで考えていくことで、健康で元気な町をつくっていく。	平22年 11月
四日市市	やさにし りぼん	四日市市	-	その他(子育て支援)	人と人のつながりを深めるため、地域の住民と子どもたちがふれあえる機会を増やし、子どもも大人も「ここに来ればほっとする」、「元氣になれる」みんなの居場所づくりを行っていく。	平22年 12月
四日市市	ワンデイシェフの店 にじいろ堂	四日市市	-	食、産業振興、観光振興、教育、健康、福祉、その他(食と人のつながり)	日替わりシェフ方式レストランを運営することにより、食を通じた地域の絆づくり、安心と信頼でつながる地域のコミュニケーションづくりに寄与していく。	平22年 12月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
四日市市	三重西里山を愛する会 しろやま倶楽部	四日市市	いなべ市、菰野町	環境保全、景観形成、森づくり、健康、祭り・イベント、その他(里山保全活動・幼稚園、小学校体験学習支援)	手軽に地域住民が利用できる親しみやすい里山を作っていくため、「しろやま公園(三重城山緑地)」の保全活動を行っていくとともに、地域の子どもたちに環境保全の大切さを伝える活動等を行うことにより、地域住民へ取組の輪を広げていく。	平23年 1月
四日市市	牛FUNネットワークm29	四日市市	桑名市、菰野町、松阪市	食、環境保全、総合的なまちづくり、祭り・イベント	牛ふん堆肥を活用して、環境に配慮した野菜づくり、米づくりを畜産農家と地域の住民のみなさんと連携しながら行い、資源循環型農業の拡大や地域の耕作放棄地を減らすことをめざしていく。	平23年 2月
四日市市	地域プロデュース集団 3Side	四日市市	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町	食、観光振興、文化芸術、防災、スポーツ、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(地域活性化、若者育成等)	商店街での「四日市カレーライスコンテスト」や、若手起業家等との情報交流会など、「楽しい」をテーマに地域活性化につながるイベント等の企画を行うこと等により地域を元気にしていく。	平23年 2月
四日市市	下野まちづくり委員会	四日市市	-	食、環境保全、森づくり、教育、健康、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	下野地区のかつての里山を取り戻し、保全していくため、散歩道の整備、自然観察会や地域住民が楽しめるイベント等の開催、飼料化や竹炭づくりなど竹の有効利用の検討など、里山の整備・保全を核とした取組を進めることで、地域の活性化をはかっていく。	平23年 3月
菰野町	いきいきサロン大羽根	菰野町	-	食、文化芸術、防災、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	高齢者支援、地域防災活動、子育て支援等、子どもから高齢者まで幅広く対象とした活動を展開し、地域でのボランティア活動を通じて、豊かな人間関係と住民同士がお互いに支え合い、つながりある地域づくりをめざしていく。	平21年 10月
菰野町	特定非営利活動法人菰野町スポーツ・文化振興会	菰野町	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、朝日町、川越町、川越町、鈴鹿市、亀山市	産業振興、観光振興、文化芸術、教育、スポーツ、総合的なまちづくり、祭り・イベント	菰野町におけるスポーツ活動や芸術文化活動に対し支援・協力を行うことで、活動をより魅力あるものにしていくとともに、広くスポーツや芸術文化の振興をはかることにより、新たな活気ある活動を推進し、活力ある地域社会の実現をめざしていく。	平22年 4月
菰野町	フォー・クローバー	菰野町	-	福祉	おもちゃ図書館の活動を通じて、障がいを持つ子どもたちの生活領域を広げるとともに、親同士のコミュニケーションの場、子育て支援の場をつくっていく。また、子どもたちが将来にわたり、地域で安心してくらしにいけるよう、就労や住まいの場等の創設を行う。	平22年 5月
菰野町	住まいの地産地消を推進する会	菰野町	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市、津市	環境保全、森づくり、産業振興、総合的なまちづくり	伝統工法により、地元の木を使って建てられた家を未来に残していくため、住まいの地産地消を推進するとともに、自然エネルギー等を利用した住まい造りの普及を進めていくことにより、森づくりや環境保護に貢献していく。	平23年 3月
菰野町	湯の山の自然を愛する会	菰野町	-	食、環境保全、文化芸術、健康、福祉、祭り・イベント	湯の山の自然環境の素晴らしさを広く紹介するとともに、チャリティフリーマーケット等の開催を通じて、湯の山の自然環境保護と活性化をはかり、地域に貢献していく。	平23年 3月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
朝日町	ほちおうじまつりしんこうかい 八王子祭振興会	朝日町	-	祭り・イベント	約300年の歴史があり、朝日町の無形文化財に指定されている八王子祭の継承を通じて、中学生・高校生を中心とした次世代育成を行うとともに、地域おこしに取り組んでいく。	平21年 6月
朝日町	しろめたいに ほぞんかい 白梅太鼓保存会	朝日町	-	文化芸術、祭り・イベント	白梅太鼓の町の文化祭や福祉施設等での演奏活動、小学校での和太鼓の実技指導等を通じて、地域の絆を深め、和太鼓の振興や地域全体での次世代育成に取り組んでいく。	平22年 2月
朝日町	とうゆう 陶友あさひ	朝日町	-	文化芸術	陶芸教室を開催し、高齢者の生涯学習、やりがい、交流の場を提供するとともに、町内外へ団体の活動や郷土の偉人・森有節(もりゆうせつ)の情報発信をしていくことで、朝日町の文化向上に貢献していく。	平22年 12月
朝日町	たけざいく 竹細工サークル	朝日町	-	文化芸術	竹細工教室を定期的に開催することで、高齢者の生涯学習、やりがい、交流の場の創出を行うとともに、地域の子どもたちを対象とした教室も開催するなど、住民のふれあいを深めるための地域に密着した活動を推進していく。	平23年 1月
川越町	とよだ ほたてを育てよう会 豊田ホタルを育てよう会	川越町	-	環境保全、景観形成、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	川越町を流れる小川に、幻想的な光跡を残し飛び交うホタルをよみがえらせるため、自然環境の保全活動に取り組むとともに、幼虫の放流会や飛翔観察会等を通じて、まちづくりネットワークを広げ、地域力の向上をはかっていく。	平21年 9月
川越町	とくてい ひまわり かつどう ほしん 特定非営利活動法人マイサンク チュアリ	川越町	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、菟野町、朝日町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市	教育、健康、スポーツ、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(男女共同参画)	女性の雇用、能力開発を積極的に進めようとする企業や個人とのネットワークづくりを推進するとともに、セミナー、交流会等を通じて、より多くの女性が、生涯、仕事や楽しみを持ち、いきいきと輝いて暮らしていけるよう支援していくことで、安心して子どもを産み育てられる社会を構築し、男女問わず生き生きと過ごせる三重県にしていこう。	平23年 3月
鈴鹿市	えん 縁がわサミット	鈴鹿市	伊勢市、熊野市	総合的なまちづくり	古布を使用して人形用のミニ着物等を製作し、鈴鹿市の姉妹都市ベルフォンテン、東南アジア・ヨーロッパ等で展示及び国際交流をしていく。	平21年 8月
鈴鹿市	NPO ドリーム21 にじゅういち	鈴鹿市	四日市市、亀山市	産業振興、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり	「街並み・あかりアート展」や「ヤマトタケルを巡る旅」を実施して、郷土に眠っている歴史の再発見と、地域の固有伝統産業を融合したまちおこしをしていく。	平21年 8月
鈴鹿市	さいがい 災害ボランティアネットワーク鈴 ずか 鹿	鈴鹿市	桑名市、いなべ市、東員町、四日市市、菟野町、川越町、亀山市、津市、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町、県外(愛知県、奈良県、滋賀県等)	防災、その他(防災を通じたまちづくり)	次世代につながる防災教育・防災啓発を行う組織であり、三重県内における先駆者として活動してきた。今年度は、答志島など地震体験車が来たことのない地で防災啓発を行うなどの取組を行っており、こういった場を通して、防災に関わる人材の育成を進めていく。	平21年 10月
鈴鹿市	すずかし うまき しんこうかい 鈴鹿市植木振興会	鈴鹿市	-	産業振興、祭り・イベント	植木業界は、全国的には後継者問題が深刻となっているが、本市では、後継者が多教育っており、さらなる植木の発展をめざして活動している。今後は、「鈴鹿市植木まつり」を継続することで、植木の普及と産地振興をはかるとともに、地域の活力づくりにつなげていく。	平21年 10月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
鈴鹿市	おお 大くすファーム	鈴鹿市	-	食、環境保全、景観形成、観光振興、教育、祭り・イベント	三重県の指定文化財になっている「長太の大くす」の周辺の菜園を中心として、地元農家や定年退職者と連携して、新鮮な野菜などを販売する直売所を開設し、広域的に人が集まる場所づくりを計画しており、地産地消による地域活性化に取り組んでいく。	平21年 11月
鈴鹿市	すずか かき おんしつくみあい 鈴鹿花卉温室組合	鈴鹿市	四日市市、亀山市	景観形成、産業振興、観光振興、祭り・イベント	洋ラン、観葉植物、切りバラ等の生産・研究を行うだけでなく、F1やバルーンフェスタをはじめ、市内・県内のイベントに出展・協力し、親子植栽体験教室を実施するなど花卉普及活動を通じて、花卉のある豊かな生活を住民に提案し、地域の活性化に寄与していく。	平21年 11月
鈴鹿市	すずか ひーあーるすいしんかい 鈴鹿のたまごPR推進会	鈴鹿市	-	食、産業振興	鈴鹿市内の養鶏農家18戸の有志が、卵の大生産地のイメージ向上と新鮮で安全な卵の消費拡大をはかるために、統一ロゴマークの作成や主要道路への看板設置などの活動を行っている。今後、地元消費者への情報提供やファームマップの作成、商品開発などに取り組むことで地産地消を進め、地域産業の活性化に寄与していく。	平22年 3月
鈴鹿市	ものづくり	鈴鹿市	-	産業振興、文化芸術	工芸仲間のグループがコラボレーションして、陶芸や型紙、木工などで新たな商品を開発をしながら、ものづくり技術やデザイン力の高い人材を育成し、地域の産業発展に貢献していく。	平22年 4月
鈴鹿市	すずかこくさいじん 鈴鹿穀菜人	鈴鹿市	-	食、産業振興	鈴鹿の農業生産者と商工業者が連携して、鈴鹿産の農産物(米粉等)を活用した新しいグルメ食品や特産品を開発することで、鈴鹿をPRするとともに地域おこしを行っていく。	平22年 4月
鈴鹿市	はびねすクラブ	鈴鹿市	亀山市	環境保全、健康	鈴鹿川河川敷などの清掃を定期的に行うことで、街がきれいになり、人々の笑顔が増え、地域の人々が心も体も健康になることをめざしていく。	平22年 6月
鈴鹿市	ほくせいしゅびょう 北勢種苗	鈴鹿市	全国	環境保全、森づくり、海づくり、総合的なまちづくり	山林苗木・芝及び植木を生産している農家のグループであり、春秋の植木まつり又は市内のイベントにおける苗木の配付等、緑豊かな生活を住民に提供することによって、地域での緑の普及活動やCO2削減の啓発に貢献していく。	平22年 6月
鈴鹿市	まきお ころも 裂き織り工房さっこり	鈴鹿市	桑名市、菟野町、亀山市	文化芸術、福祉、その他(伝統文化)	三重県で100年の歴史を誇る、伝統ある裂き織りの魅力を若い世代にも伝え、広めることで、裂き織りによる交流を深めながら後世に継承していくことをめざしていく。 また、毎年、裂き織りの魅力を発信するために、バッグ、小物、帯等の作品展示会を行っており、そこでの売り上げの一部を社会福祉協議会へ寄付を行う等、社会貢献活動も行っている。	平22年 7月
鈴鹿市	みえ あつ やつ、たいしゅうごう 三重の熱い奴ら大集合！！実行委員会	三重県全域	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、菟野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町	教育、総合的なまちづくり、その他(人間教育、地域活性)	自分たちのイベントを通して、県内各地域で活動する人たちのネットワークを構築し、人と人とのつながりを広げることで、三重県を盛り上げていく。	平22年 8月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
鈴鹿市	ささらくらぶ	鈴鹿市	四日市市、亀山市	食、産業振興	鈴鹿の茶農家の有志が中心となり、緑茶の普及活動をするとともに、緑茶を使用した新商品として“お茶うどん”などのB級グルメを提案することで、地域の活性化をはかっていく。	平22年 10月
鈴鹿市	みえ三重ご当地グルメの会	鈴鹿市	四日市市、津市、松阪市、鳥羽市、志摩市	食、海づくり、産業振興、観光振興、健康、総合的なまちづくり、祭り・イベント	県内各地に眠る魅力あるおいしい物産を掘り起こし、ブラッシュアップして6次産業創出による地域活性化をめざしていく。	平22年 11月
鈴鹿市	いのちと心を守る鈴鹿市民の会	鈴鹿市	-	教育、健康、医療、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	自殺防止に取り組むため、命の大切さや人とのつながりの重要性を伝える活動を行い、社会福祉へ貢献していく。	平23年 3月
亀山市	かめやま温暖化防止サークル	亀山市	-	環境保全	地球温暖化防止策の啓蒙、遊び・工作を通じた子どもたちへの技術の伝承、中高年の社会貢献による生きがいづくりを目的に、小中学校への出前講座などを実施する。	平21年 6月
亀山市	うぐいすの森(人と森の調和)	亀山市	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、菟野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町、県外(大阪府、京都府、滋賀県)	食、環境保全、景観形成、森づくり、文化芸術、教育、総合的なまちづくり	人間だけが豊かになるのではなく、動物や小鳥なども豊かに楽しい日々をおくれるようなまちづくりを目標に、文学と花に彩られた「万葉の森さんぽみち」をつくり、本物の歴史と文化のまちをつくりあげていく。	平21年 6月
亀山市	アートによる街づくりを考える会	亀山市	-	文化芸術、総合的なまちづくり	商店街・市民が、アートによってまちを変えていこうとするきっかけとするため、平成20年度に開催した「亀山・商店街inARTアートフォーラム三重2008」を、一過性に終わらせることなく継続させ、まちの活性化につなげていく。	平21年 6月
亀山市	ぼっかぼかの会	亀山市	-	福祉	障がい者が働く喫茶店をつくり、障がい者が社会と繋がる場を提供するとともに、その保護者も含めて情報交換が行える場をつくっていく。	平21年 6月
亀山市	「ひとのわコンサート」実行委員会	亀山市	-	文化芸術	ベートーヴェンの「第九」を楽しく歌い、県内の文化の向上に寄与するとともに、クラシック音楽を中心に、さまざまな取組と連携して地域に貢献していく。	平21年 6月
亀山市	げきだん かも劇団「CAME」	亀山市	-	文化芸術、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	亀山唯一のミュージカル団体として古くから伝わるヤマトタケルの「白鳥伝説」をモチーフにした創作ミュージカルを上演している。ミュージカルを通して亀山の伝説を継承し、また、子供から大人まで参加することで世代間交流を進める。	平21年 7月
亀山市	かめやましく、さいてんふかい 亀山食の祭典部会	亀山市	-	食、産業振興、観光振興、総合的なまちづくり、祭り・イベント	市内で生産された食材を加工し、亀山のグルメを創出するとともに市内外の食に関わるベンチャー企業にPRの場を提供することで、食を通しての地域活性化をめざす。	平21年 8月
亀山市	かめやま 亀山みそ焼きうどん本舗	亀山市	-	食、総合的なまちづくり	亀山市内の飲食店組合と連携して、みそ焼きうどんを亀山のB級グルメとして確立し、食を通しての地域活性化をめざす。	平21年 8月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
亀山市	たびびとやど いしがきや 旅人宿 石垣屋	亀山市	-	景観形成、産業振興、観光振興、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	東海道関宿で古民家を借り上げ、体験宿泊施設、高齢者サロンとして活用するなかで、地域のつながりを通して関宿の魅力を伝えていく。	平22年 1月
亀山市	くるまいす 車椅子レクダンス普及会亀山支部	亀山市	四日市市、鈴鹿市、津市	福祉、総合的なまちづくり	平成23年には車椅子レクダンス全国大会が亀山で開催されることが決定しており、車椅子を活用したダンスを通して高齢者や障がい者が健常者と同じように楽しめる社会環境をめざして活動していく。	平22年 1月
亀山市	みえ 三重オーガニックマーケット	亀山市	-	食、観光振興、祭り・イベント、その他(地域活性)	三重県内の有機農業者と新鮮で安全な食材を求める消費者との交流の場を作り、将来的に亀山地域全体に新鮮で良質な食のコミュニケーションの確立をめざしていく。	平22年 6月
亀山市	こんの ぎん 金王道ふれあい探訪ウォーキング	亀山市	鈴鹿市	その他(歴史資産の掘り起こし)	“金王道”など地域の歴史資産を掘り起こし、ウォーキング等の手法を用いて、その魅力を後世に伝えていく。	平22年 9月
亀山市	いど ほんかく 井戸端会議	亀山市	-	文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(伝統技能継承保存)	屋生地区に伝わる伝統的な技能である“わら工芸品製作等”を、わら草履・しめ縄づくり講習会を開催しながら後世へ継承していく。	平22年 9月
亀山市	うめ 梅くらぶ『あんばんい』	亀山市	-	食、環境保全、総合的なまちづくり、祭り・イベント	屋生地区の住民が、地域で多く栽培されている梅を活用し“梅シロップ”等の製品づくりや梅林の整備を行い、地域の活性化をめざしていく。	平22年 9月
津市	とくいでい ひえいりり かっとうほうじん みえ 特定非営利活動法人 三重ドリームクラブ	津市	四日市市、鈴鹿市、松阪市、伊勢市、伊賀市、県外(岐阜県、滋賀県、愛知県)	総合的なまちづくり、祭り・イベント	着ぐるみの「とらまる」を活用して、さまざまなイベントへ参加し藤堂高虎公をアピールしているほか、手作り甲冑教室を開催している。地域に伝わる祭りや催し等に、手作りの甲冑や「とらまる」で参加するなど、地域の活性化に取り組む。	平21年 8月
津市	げいのうまちづくり協議会	津市	-	環境保全、文化芸術、教育、防災、保健、福祉、総合的なまちづくり	「安心・安全」、「環境」、「健康・福祉」、「広報・研究」、「学び」の5つの部会を基に、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という信念を持って、芸濃地区に住む住民にとって、さらに住みよい、希望のもてる、魅力ある「まち」(地域)を築くための活動に取り組んでいく。	平21年 10月
津市	キバヤシレコード	津市	四日市市、鈴鹿市、亀山市、松阪市	総合的なまちづくり、祭り・イベント	老人ホームや介護施設でのコンサートなど、音楽を通じたボランティア活動に取り組んでいる。今後は、イベントなど、さまざまな分野で地域おこしの活動をしているグループとの連携をはかることにより、さらなる地域の活性化に取り組んでいく。	平21年 12月
津市	たいよう かげ みち 太陽と風の道づくり	津市	松阪市、明和町、伊勢市、鳥羽市、県外(奈良、大阪、兵庫)	環境保全、景観形成、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(地域交流)	俱留尊山(くろそやま)の麓の池の平湿原を復活させるための取組や、美杉町太郎生地域を通る「太陽の道」、「レイライン」を活用した地域情報の発信と交流等の活動を通じて、地域の活性化に取り組んでいく。	平21年 12月
津市	みえ ぶんかりょく ほうそう 三重の文化力 放送パートナーズ	三重県全域	日本国内、米国	産業振興、観光振興、文化芸術、教育、健康、医療、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(県内文化クリエイターのPR)	三重の文化や伝統、自然や特産品、音楽活動や健康促進の活動を行っている人などを取材し、それら地域の情報をインターネット等で広く国内外に発信することにより、三重県内各地の魅力をPRし、それぞれの地域の活性化に寄与していく。	平21年 12月
津市	はくさんみち 白山道しるべの会	津市	-	環境保全、景観形成、観光振興、文化芸術、教育、健康、総合的なまちづくり	歴史ボランティアガイドの会で、津市白山町地域の名所旧跡を案内している。白山町内の名所旧跡を、2時間程度で回れるハイキングコースを設定したマップの作成や各種研修会でのスキルアップにより、より多くの人々に白山町の魅力を知ってもらう取組を行っていく。	平22年 6月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
津市	たけはらちいき かつせいか きょうざいかい 竹原地域活性化協議会	津市	-	食、環境保全、景観形成、森づくり、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、防災、保健、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	「地域活性化部会」、「特産物開発部会」、「販売促進部会」の3つの部会で、地域の祭りやイベントへの協力、地域環境や景観の保全、特産品の試作や特産物販売等に取り組み、美杉町竹原地域の活性化と集落機能の再生をめざしていく。	平22年 7月
津市	ほうじん あとりお NPO法人 a trio	津市	桑名市、四日市市、鈴鹿市、松阪市、伊勢市	産業振興、文化芸術、教育、総合的なまちづくり	津の文化や歴史を中心に特色ある地域資源を活用して、夢をもって仕事に取り組む人材を育成することにより、地域の経済活性化につないでいく。幸せな仕事をしている人で三重をいっぱいにしていくことをミッションとして取り組んでいく。	平22年 8月
津市	けんきゅうかい トータルヘルス研究会	津市	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、菟野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町	食、医療、総合的なまちづくり、祭り・イベント	津を拠点とし、心、身体、環境からの元気な地域(トータルヘルス)の実現をめざし、「おいしくて体に良い」食の研究、「日常生活を豊かにする」アロマの研究、環境保全についての研究などを行っている。トータルヘルスの充実・普及に取り組み、より多くの皆さんやグループとの連携を行うことで、楽しく、体や環境に良い、豊かで元気な組織や地域の実現をめざしていく。	平22年 8月
津市	たけ きょうざいかい 多気の郷元気づくり協議会	津市	-	食、環境保全、景観形成、森づくり、産業振興、観光振興、総合的なまちづくり、祭り・イベント	「事業調整部会」、「ふるさと部会」、「森づくり部会」、「ものづくり部会」の4つの部会からなる協議会が地域全体の課題解決をはかり、地域らしさを取り戻すと同時に、地域を元気にすることを目的に取り組んでいく。	平22年 8月
津市	いせ ほんかいどう いちい 伊勢本街道を活かした地域づくり協議会	津市	松阪市、伊勢市、名張市、奈良県	食、環境保全、景観形成、産業振興、観光振興、文化芸術、健康、総合的なまちづくり、祭り・イベント	伊勢本街道沿線に位置する「伊勢地区」、「八幡地区」、「多気地区」の3つの地区部会、「コース案内マップ部会」、「イベント部会」、「語り部育成部会」の3つの作業部会を設け、伊勢本街道を活用した美杉の自然と歴史や人のぬくもりに触れる癒しの郷づくりをめざしていく。	平22年 9月
津市	つ ゆうき のうがっこう 津有機農学校	津市	-	食、教育、その他(農業)	有機農業者の養成や有機農法の家庭菜園者への技術指導等の活動を行うことで、新規就農者の確保による定住者の増加や、食の安全や環境負荷の低減など、地域での資源循環のしくみづくりに寄与していく。	平22年 12月
津市	ころろ CORORO	津市	-	食、文化芸術、福祉	障がい者や高齢者等を対象に「音楽・アート・スポーツ・食」をテーマにしたアクティビティ活動を行っている。今後は更に福祉関係、海関係のパートナーグループとの連携を進め、学校や介護施設等受け入れ側の実践型教育プログラムの充実をはかるなど、「楽しみながら成長できる」コミュニティづくりをめざしていく。	平23年 1月
津市	がくせいこくさいきょうりょくだんたい 学生国際協力団体 HeartsTree	津市	四日市市、鈴鹿市	祭り・イベント	大学生のボランティアグループで、社会貢献や地域貢献につながる活動を行っている。イベント等を行うことで、地域を活性化させること、地域のきずなを深めること、地域と若者の交流をはかることをめざしていく。三重大学医学部と交流のあるラオスの病院建設に対して資金支援を行うことも目標の一つとしている。	平23年 2月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
津市	たろう ちいき きょうぎかい 太郎生地域づくり協議会	津市	名張市、奈良県、大阪府、京都府	食、環境保全、景観形成、森づくり、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、防災、健康、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	過疎化と少子高齢化の進行により、失いつつある地域らしさを取り戻すと同時に地域を元気にすることを目的として「物産販売・観光等地域資源発信部会」、「森林セラピー基地等案内部会」、「田舎ステイ促進部会」の3つの部会を設けて、地域づくりに取り組んでいく。	平23年 3月
松阪市	がもう うじ さとこう けんしやうかい 蒲生氏郷公顕彰会	松阪市	県外(滋賀県、福島県)	観光振興、文化芸術、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	松阪開府の祖である蒲生氏郷公の足跡の探求・顕彰、さらには市民の郷土意識の高揚と他地域との友好・交流を通じて、歴史・文化遺産を生かしたまちづくりを進める。	平21年 8月
松阪市	オノマカブ・レーベル	松阪市	津市、県外	観光振興、文化芸術、教育、福祉、総合的なまちづくり	障がいのあるミュージシャンなど、異才あるマイノリティミュージシャンが活動する場を創出することにより、音楽によるまちづくりを進める。	平21年 8月
松阪市	ヒューマンエレメント	松阪市	津市、県外(東京都)	観光振興、文化芸術、教育、福祉、総合的なまちづくり	障がいのあるアーティストなど、異才あるマイノリティアーティストが活動する場を創出することにより、芸術によるまちづくりを進める。	平21年 8月
松阪市	は ぜ 波瀬むらづくり協議会特産部会	松阪市	-	食、景観形成、産業振興、観光振興、総合的なまちづくり	クレソンをはじめとする波瀬地区の特産品に付加価値を付け、販路を拡大することにより、地域の活性化に取り組む。	平21年 8月
松阪市	きこころ 喜心	松阪市	多気町、明和町、伊勢市	食、環境保全、福祉	タケノコ及び地域でとれる野菜を加工、販売することにより、山林の保全、高齢者の雇用を進め、地域の活性化をはかるとともに、EM石けんを活用した環境保全に取り組んでいく。	平21年 9月
松阪市	ほしじん なま NPO法人 生ゴミリサイクル 亀 さんの家	松阪市	明和町	食、環境保全	地域の住民とともに生ゴミを堆肥化し、その堆肥で育てた有機野菜の販売等を行うことにより、高齢者の生きがいづくりや地域の活性化を進めていく。	平21年 11月
松阪市	うみ りゅう UMI-RYU	松阪市	伊勢市、鳥羽市、志摩市、県外(和歌山)	環境保全、景観形成、海づくり、教育、スポーツ、総合的なまちづくり、祭り・イベント	河川・海岸の清掃活動や生き物観察会等の活動を通じて、海に繋がるすべての生き物の大切さを地域の人々に伝え、次世代に残していくことで、地域に貢献していく。	平22年 1月
松阪市	ゆめ すずあん 夢の鈴庵	松阪市	四日市市、津市、伊勢市、鳥羽市、志摩市	食、環境保全、森づくり、産業振興、観光振興、健康、総合的なまちづくり、祭り・イベント	市街地の“路地裏”に焦点をあて、地域の他のグループや団体と協働して、賑わいのあるまちづくりを行うことにより、地域の活性化を進めていく。	平22年 1月
松阪市	うれしの かんきょう べんきょうかい 嬉野環境勉強会「ほしのたね」	松阪市	-	環境保全	環境問題の現実をありのままにわかりやすく伝えることにより、一人一人ができることについて気付いてもらい、それを環境保全活動に繋げることで、地域に貢献していく。	平22年 5月
松阪市	ちえ わ まつさか 知恵の輪松阪(カミナリ会)	松阪市	-	観光振興、総合的なまちづくり	松阪をもっと住みやすいまちにするため、「松阪まちなか再生プラン」など計画づくりへの参画や地域を知るイベントの開催などの活動を通じて、まちの活性化に取り組んでいく。	平22年 6月
松阪市	かお み まつさか いえ 顔の見える松阪の家づくり推進 きょうぎかい 協議会	松阪市	津市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市	環境保全、景観形成、森づくり、産業振興、観光振興、文化芸術、防災、健康、総合的なまちづくり、その他(木に関わるすべて)	「三重の木」及び「エコ資材あかね材間伐」の普及を促進し、地域の木を使うことで、地域の山を生き生きとさせ、災害の防止、環境の保全、水源の確保、海洋の保全に寄与していく。	平22年 8月
松阪市	うれしの 嬉野アイリス	松阪市	津市	食、環境保全、教育、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	ごみの減量化や3R(リデュース、リユース、リサイクル)など環境保全の取組、食の安全、子育て支援、イベントへの参加などを通じていきいきと心豊かに暮らせるまちづくりをめざしていく。	平22年 9月



市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
松阪市	ボランティアぐるーぷ。岩内まち “人のわ”を広げる会	松阪市	-	環境保全、祭り・イ イベント	由緒ある風光明媚な瑞巖寺庭園周辺の 美化、清掃、遊歩道整備、文化遺産の見 直しなどを通じて地域の活性化をはかり、 人の輪(和)を広げていく。	平22年 9月
松阪市	クラフト&雑貨マルシェ実行委員 会	松阪市	津市、伊勢市、志摩 市、玉城町、愛知県	環境保全、産業振 興、祭り・イベント	手づくりカントリー雑貨のイベント(クラフ ト&雑貨マルシェ)を、松阪市を中心に県 内各地で地域の人々と協力して開催する ことにより、地域を盛り上げ、地域を元気 にしていく。イベント等における豊富な出 展者ネットワーク等を生かして、他のさま ざまなグループの連携支援を行うことで、 それぞれの地域での活性化に貢献してい く。	平22年 11月
松阪市	朝見まちづくり協議会朝見を元 気にする会	松阪市	-	教育、防災、福祉、 総合的なまちづくり	松阪市朝見地区における防災、防犯、 地域福祉、青少年育成等の活動に地域を あげて取り組み、地域性を生かしながら、 安全安心な住みやすいまちづくりを進め ていく。	平23年 1月
松阪市	食工房 中郷	松阪市	-	食	松阪市嬉野地域にある中郷地区は、美 味しい食材の宝庫であり、これら地元中 郷産の食材を生かした加工食品を開発・ 販売し、村おこしにつなげていく。	平23年 1月
松阪市	朝見まちづくり協議会朝見の自 然を考える会	松阪市	-	食、環境保全、景観 形成、観光振興、総 合的なまちづくり、祭 り・イベント	松阪市朝見地区の自然や歴史を次代を 担う子どもたちに残すため、地域資源の 掘り起こし、環境の保全美化、生物多様 性の学習等の取組により朝見地区の価 値を高めながら、魅力あるまちづくりを進 めていく。	平23年 2月
多気町	多気町まちづくり仕掛人塾	多気町	-	食、環境保全、景観 形成、産業振興、観 光振興、教育、総合 的なまちづくり、祭 り・イベント	地域の人、自然、産業、歴史、文化、名 所旧跡といった財産を調査し、地域が良 くなると思う仕掛けについて検討を行うと ともに、その実現に向けて活動し、地域の 活性化に取り組む。	平21年 7月
多気町	たき環境くらぶ“竹遊号”	多気町	-	環境保全、森づく り、総合的なまちづく り、祭り・イベント	住民で整備した公園「クリスタルの森」を 拠点に、住民、企業、学校、各種団体等 が協力してこの公園を管理するとともに、 公園を活用した環境活動を展開し、“環 境”による地域づくりを進める。	平21年 8月
多気町	元丈の里 営農組合	多気町	-	食、環境保全、景観 形成、産業振興、観 光振興、教育、総合 的なまちづくり、祭 り・イベント、その他 (都市と農村の交 流)	地域の特色を生かした農業生産活動に より、地域資源(水・土・里)の荒廃を防止 し、都市住民を交えた農産物の生産・加 工・消費による6次産業化を実現し、更 には食と健康づくりの里をテーマとしたグ リーンツーリズムの推進をはかることよ り、心豊かな里づくりを行っていく。	平22年 2月
多気町	竹林整備隊	多気町	-	環境保全、景観形 成、森づくり、産業 振興、文化芸術	荒廃した竹林の整備や、竹材等の利用 と竹林整備の必要性について普及啓発を 行い、美しい里山(竹林)の自然環境の再 生をはかっていく。	平22年 2月
多気町	多気観光社	多気町	-	食、産業振興、観光 振興、健康、総合的 なまちづくり、祭り ・イベント	農業体験、自然食、パワースポットツ アーなどにより、多気町にしかない魅力 を県内外に向けて発信し、観光を通して 多気町の活性化をはかっていく。	平22年 10月
明和町	大淀ビーチクリーン	明和町	松阪市、伊勢市	環境保全、景観形 成、海づくり、産業 振興、観光振興、祭 り・イベント	海岸清掃を通じて、環境保全の意識を 向上させるとともに、世代を超えた付き 合いができる場所をつくり、地元愛を育 む。	平21年 6月
明和町	明和防災ボランティアグループ プラス1	明和町	-	防災	防災タウンウォッチング、防災に関する 講演会、県内及び県外の防災ボランテ ィアとの交流会などを実施し、住民への 防災知識の普及をはかる。	平21年 7月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
明和町	「竹の都・明和」農業生産研究会 たけ みやこめいわ のうぎようせいさんけんさゆうか	明和町	松阪市、多気町、大台町、伊勢市、玉城町	食、環境保全、景観形成、産業振興	自然循環資材の再生利用や生ゴミ堆肥製造・有効利用により、農地の土壌改良やそこで栽培した有機農作物の販路拡大を通じて、まちおこしを進める。	平21年 7月
明和町	フリーズ FREEZE	明和町	四日市市、津市、松阪市、明和町、大台町、伊勢市	文化芸術、祭り・イベント	子どもから大人まで世代を超えた音楽好きが集まって、協同作業や交流を行うことにより、地域の活性化に取り組む。	平21年 8月
明和町	ちくめいしゃ 竹茗舎	明和町	-	観光振興、文化芸術、教育、その他(まちかど博物館)	まちかど博物館「竹茗舎」を設置・運営し、地域が主体となって「竹の文化」を町内外に発信するとともに、これを次世代の子どもたちに伝承していく。	平21年 11月
明和町	こんぶだん かがやくぜ 魂舞団・輝風	明和町	四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、多気町、大台町、伊勢市、志摩市、玉城町、度会町、県外(名古屋)	文化芸術、祭り・イベント	よさこいソーランなどの踊りをイベントや祭りなどで披露するとともに、みんなで気軽に踊ることの楽しさを小中学校で教えることにより、地域の連帯感を高め、活性化に寄与していく。	平21年 12月
明和町	めいわ おんど ほそんかい 明和音頭保存会	明和町	松阪市、伊勢市	文化芸術、祭り・イベント	明和音頭をイベントや祭り、文化祭などで披露するとともに、町内各地においてその保存と継承のための活動を行うことにより、地域の連帯感を高め、活性化に寄与していく。	平21年 12月
明和町	はな やさい ちやくばいてん 花と野菜の直売店 サン	明和町	松阪市、伊勢市	食、環境保全、産業振興	安全で安心して食べることができる野菜やその地域ならではの花を生産・販売し、地産地消の取組に寄与するとともに、地域の子もたちに土に触れ農作物を収穫する体験を通して食の大切さなどを教えていくことにより、地域の活性化に取り組んでいく。	平21年 12月
明和町	あじさい	明和町	-	食、環境保全	地域の住民で生ゴミを堆肥化し、野菜づくり・花づくりに活用することにより、環境問題への意識向上をはかるとともに、人と人との繋がりを深め、地域の活性化を進めていく。	平22年 1月
明和町	しせき さいくろあといせかいどう 史跡齋宮跡・伊勢街道まちづくり かい 会	明和町	-	景観形成、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント	史跡齋宮跡や伊勢街道など、明和町の魅力ある地域資源を活用して、住民はもとより、訪れる人々がやすらぎと愛着を感じられる魅力的なまちづくりを進めていく。	平22年 10月
明和町	NPO法人 ほうじん ういの郷クラブ	明和町	松阪市、伊勢市、玉城町	食、環境保全、景観形成、福祉、祭り・イベント、その他(子育て支援)	大仏山の西北麓の里山と周辺を巡る3つの歴史古道を整備再生し、その自然環境の保全をはかるとともに、これらの環境を活用したさまざまな親林活動や自然体験活動を通して、多くの人々の交流や健康増進、青少年の野外活動を促進し、地域の発展に寄与していく。	平22年 11月
明和町	おはなし小植 こぶせ	明和町	-	文化芸術、教育、福祉、祭り・イベント	絵本の朗読や大型紙芝居の上演等を通して、子どもたちの豊かな情操と豊富な言葉を育むとともに、高齢者や障がい者とのふれあいを深めることにより、地域社会に貢献していく。	平22年 12月
大台町	がんばれ、大台 おあた	大台町	-	環境保全、森づくり、産業振興、防災	山村の衰退により放置される山を企業等の賛同を得て手入れすることにより、災害の未然防止、CO2の削減、雇用の場の提供、人づくりに取り組む。	平21年 8月
伊勢市	いしよくどうげん 医食同源みえ	伊勢市	四日市市、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市	食、産業振興、観光振興、保健、医療、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	三重県の統合医療推進の一環として、伝統的な医療(鍼灸・漢方)、薬草、食育、健康ツーリズム等、相補代替医療の研究・啓蒙及びそこから派生する事業を育てていく。	平21年 5月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
伊勢市	あさま、さんかく、はな、さかい 朝熊山麓に花を咲かす会	伊勢市	-	環境保全、景観形成、観光振興	伊勢の観光名所となる花園づくりを通して、心豊かな子どもを育むとともに、地域の発展と活性化に貢献すべく、県営サンアリーナ花の広場周辺に、花ももの苗木1,000本を地域の皆さんや子どもたちと一緒に植樹し、伊勢地域に新たな魅力ある花の名所をつくる活動を進めていく。	平21年 9月
伊勢市	いすずがわ 五十鈴川をきれいにする会	伊勢市	-	環境保全、景観形成、教育	神宮林から流れる美しい水を通して身近なところにある自然環境を知り、ごみ拾い、水生生物観察会、エコウォークなどにより、水との地理的・社会的・心理的距離を縮め、未来へとつなげていく。	平21年 9月
伊勢市	みえけん、いせ、ちようりし、きようかい、やくそう、りよ 三重県伊勢調理師協会 薬草料理研究委員会	伊勢市	-	食、観光振興、保健、総合的なまちづくり	日本の「こころ」のふるさと「伊勢」において、東洋医学の「医食同源」の理の基に、疲労回復・滋養強壮等に良いとされる天然資源の薬草・海藻等を数多く使用し、「食養」を旨とした献立づくりを行う。「伊勢に来て心も体も健康になろう」をスローガンに、誘客に結び付けていく。	平21年 9月
伊勢市	らくのうそん 楽農村	伊勢市	-	食、景観形成、森づくり、観光振興、文化芸術、教育、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	本業をもちながら余暇を活用して、新しい形で畜産をやりたい人、農業に興味のある人、里山で露天風呂のある旅館を経営したい人などが集まり、地域の中の限界集落を、現在あるものを最大限利用して盛り上げる取組を進めていく。	平21年 9月
伊勢市	いせ 伊勢みやげ研究会	伊勢市	四日市市、津市、鳥羽市、尾鷲市	食、産業振興、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント	三重県の土、石、木、食材を検討し、伊勢の風土に基づいた新たなお土産商品の研究、開発、販売に取り組み、国内外に情報発信していく。	平21年 11月
伊勢市	てんかいち、ぶどうかい、しつこう、いんかい 天下一・武道会実行委員会	伊勢市	津市、松阪市、多気町、明和町、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町	観光振興、保健、祭り・イベント	地域のグループなどを対象に、「地域活性！新感覚エンターテインメント」をテーマとした交流イベント等を開催することで、スポーツ・レクリエーションを通じた地域の新たな交流の場づくりを行い、地域活性化に寄与していく。	平21年 11月
伊勢市	いせしま 伊勢志摩おもてなしの会	伊勢市	鳥羽市、志摩市、県外(大阪、名古屋、東京)	産業振興、観光振興、祭り・イベント	伊勢志摩を訪れた人にご満足いただけるように、最高のおもてなしを提供する「伊勢なでしこ」を組織し、伊勢市駅前観光客のご案内やまちづくりイベント時の接客などを行っている。今後は、「おもてなし学校」などの取組を通じて、「おもてなしの心」を発信し続けることで、さらに地域に貢献していく。	平21年 12月
伊勢市	どんぐりの会	伊勢市	伊賀市	食、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	子どもたちが、スポーツや職業体験などを通して、困難を乗り越える力、地域の文化を感じ取り、新たなエネルギーにしていくなどを育むことを支援することによって、地域の人材育成を通じた地域活性化に貢献していく。	平22年 3月
伊勢市	いせ、よいち、おきな、けんしゅう、しつこう、いんかい 伊勢与市翁顕彰実行委員会	伊勢市	-	観光振興、文化芸術、福祉、総合的なまちづくり、その他(歴史)	日本で初めて銭湯の営業を始めた伊勢生まれの伊勢与市の顕彰を通じて、銭湯の原点を探り、銭湯文化を継承していくことで、おかげさまの心を伊勢から発信していく。	平22年 4月
伊勢市	せいしゅん、かん 青春キネマ館&キッズシアター 上映実行委員会	伊勢市	津市、松阪市、多気町、明和町、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町、伊賀市	文化芸術、教育、福祉、総合的なまちづくり	高齢者には青春時代に見た懐かしい日本映画鑑賞の機会を、子どもたちには世界中のバラエティに富んだ映画作品を鑑賞する機会を提供するため、定期的な上映会を行っていく。ホール等ではなく、まちの映画館での上映にこだわり、地域の映画振興、ひいては映画館を核とした市街地活性化、まちづくりなどにも寄与していく。	平22年 6月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
伊勢市	いすず がわすいせいかいぎ 五十鈴川水系会議	伊勢市	-	環境保全	五十鈴川流域の水生物が少なくなったことに関する現状調査、原因の究明、川の現状への市民意識の啓発事業を行うことにより、五十鈴川が、魚影豊かな生きる川となることをめざし、伊勢神宮のご遷宮行事である御木曳き(川曳き)文化が息づく地域として、五十鈴川の再生に取り組んでいく。	平22年 7月
伊勢市	ふたみ て じっごうい 手づくりマルシェ実行委 員会	伊勢市	-	産業振興、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント	定期的な市場(手づくりマルシェ)を伊勢市二見町の旅館街で開催することにより、消費者と農業者、漁業者、原材料を自らの手で加工し製品化している生産者とを直接結び、交流の場を作るとともに地域を元気にしていく。	平22年 8月
伊勢市	まつい まごえもん おも 松井孫右衛門の思いのごとく	伊勢市	-	文化芸術、その他(歴史)	江戸時代、度重なる宮川の洪水から人々を守るために人柱となった松井孫右衛門の紙芝居を通じて、子どもたちをはじめ多くの人々に人の命の尊さ、強さを伝える草の根の活動を行い、伊勢や三重県を明るく元気にしていく。	平23年 3月
鳥羽市	あお うらかい 麻生の浦会	鳥羽市	-	食、産業振興、観光振興、防災、保健、総合的なまちづくり	朝市の開催を通じて、地域住民が楽しみながら多様な活動に参加する総合的な地域づくりをめざし、ひいては地域の活性化につなげることを目標としている。若者の働く場としての農業・漁業を魅力的なものとし、従事者の若返りをめざしていく。	平21年 9月
鳥羽市	とば すいぞくかん 鳥羽まちなみ水族館	鳥羽市	-	海づくり、観光振興、文化芸術、教育	「数ある観光地の中から鳥羽を選んでいただきありがとうございます」との気持ちをおもてなしという形で表し、環境問題を考えながら、子どもたちと一緒に流木等の海のゴミを活用した海の生き物の作品づくりと展示を行っていく。	平21年 9月
鳥羽市	うみ こ もり 海っ子の森サークル	鳥羽市	南伊勢町、紀北町	環境保全、海づくり	漁業者による海の植林活動を支援するとともに、自然環境にやさしく、人の手で行える環境再生をいろいろな人と一緒に実施している。これらの取組を、三重県から全国に発信していくとともに、海の森を未来に届ける活動を進めていく。	平21年 10月
鳥羽市	とくいでいひ えいり かつどうほうじん 特定非営利活動法人NPOとば リサイクルネットワーク	鳥羽市	-	環境保全、その他(廃棄物の資源循環)	受託している「鳥羽リサイクルパーク」の管理運営を通じ、生ごみの発生・排出の抑制とリサイクルを推進し、ごみゼロ社会の実現に寄与していく。 また、ごみの減量化とリサイクルを通じて、市民同士の交流促進をはかり、ひいては地域の活性化、観光地としての魅力の向上をめざしていく。	平22年 9月
鳥羽市	せいかつかいげん 生活改善グループ「むつみ会」	鳥羽市	-	食、環境保全、産業振興、その他(地域振興)	地域における農業婦人の地位向上と豊かな農村社会の創造、地域住民の健康増進を目的に、農産物の地産・地消を進め、買い物が困難な高齢者等も対象にした直売所を運営するなど地域住民の絆づくりや、生きがいづくりに寄与していく。	平22年 9月
鳥羽市	まんよう の 里 わくうら 小 浜 会 万葉の里 和具浦 小浜会	鳥羽市	-	食、景観形成、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	「優しさが漂う島」をモットーに、万葉集にも詠われた歴史や文化の薫る万葉ロマンの島「答志島」の和具地区から島おこしを進めていく。 地産地消に取り組み、情報発信が出来る観光の拠点を設けるとともに、地区の歴史や文化、埋もれた宝を掘り起こし、答志島の地域活性化に取り組んでいく。	平23年 1月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
鳥羽市	ひじきの交流 <small>こりゅう</small>	鳥羽市	伊賀市	食、森づくり、海づくり、教育、祭り・イベント、その他(地域間交流)	文化・経済・教育・芸術など幅広い分野において、海(鳥羽市答志地区)と山(伊賀市比自岐地区)がそれぞれの地域特性を生かし、お互いの良き資源を提供し合いながら、人々が行き交い広範囲に連携することにより、地域の活性化(地域づくり)をめざしていく。	平23年 2月
鳥羽市	ジャズフェスティバル実行委員会 <small>じっさう いんかい</small>	鳥羽市	伊勢市、志摩市	産業振興、観光振興、文化芸術、教育	ジャズの生演奏を市内外の多くの方に聴いていただき、鳥羽に音楽文化の一つとしてジャズを定着させ、ジャズの似合う港町としてさまざまな場所でジャズが聞ける環境を創ることにより、地域を盛り上げ、鳥羽の活性化につなげていく。	平23年 2月
鳥羽市	鳥羽若女将 <small>とば わかおかみ</small> うめの奮会 <small>つぼみかい</small>	鳥羽市	伊勢市、志摩市	観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント	「鳥羽が大好き」なメンバーが集まり、鳥羽のためにできることを取り組んでいく。交流を通じて地域を活性化し、他の産業とつながり、幅広い活動へと輪を広げて、将来的には鳥羽だけでなく三重県全体として全国に発信できるような地域づくりを行っていく。	平23年 3月
志摩市	和具海人の会 <small>わく うみんちゅ かい</small>	志摩市	-	海づくり、産業振興	環境問題への取組などを通じて、漁師の経験、知恵、風習、漁村文化の情報発信、他地域との交流、地元魚介類のブランド化などに取り組み、地域、水産業おこしを進める。	平21年 5月
志摩市	三重を元気にしよう会 <small>みえ げんき しようかい</small>	志摩市	-	環境保全、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	音楽祭などのイベントを通じて情報発信を行うとともに、その機会を活用しての起業化や就労体験などの支援を行い、青少年が将来に夢を描ける地域づくりをめざす。	平21年 7月
志摩市	志摩レンジャー実行委員会 <small>しま れんじゃー じっさう いんかい</small>	志摩市	-	環境保全、観光振興、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	イベント等において、志摩市5町の名産名所をモデルにしたローカルヒーローと悪役アカシオンとで寸劇を演じることで、志摩地方のよさを情報発信していく。	平21年 8月
志摩市	志摩こんぶプロジェクト	志摩市	-	食、環境保全、海づくり、産業振興、総合的なまちづくり	環境保全活動のひとつとして、実験的にこんぶ養殖に取り組む。セミナーや勉強会を積極的に行い、また多様な団体と連携することにより、活動の輪を広げていく。	平21年 8月
志摩市	磯部楽打天晴倶楽部 <small>いそべ ぐく うちあつぱれくらぶ</small>	志摩市	伊勢市	文化芸術、教育	400年前から伝承されてきた磯部太鼓を、次の世代へ継承していく。多様な披露の機会を通じて、子どもたちが情操や感性を育み、表現力を培うことに寄与する。チーム編成を行って新磯部太鼓を創出することで、地域の活性化の一翼を担っていく。	平21年 9月
志摩市	志摩水産研究会 <small>しま すいさんけんきゅうかい</small>	志摩市	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、菟野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町	環境保全、森づくり、海づくり、産業振興	バイオ技術を使って地域の海や森の環境保全を行いながら、藻場、あわび、昆布、陸上養殖などの関連製品の生産・販売を行うことにより、地域のブランド力を高め、地域活性化につなげていく。	平21年 9月
志摩市	特定非営利活動法人 TEAM笑 <small>とくてい ひえいり かつどうほうじん ちーむ えびす</small> 美S	志摩市	東員町、鈴鹿市、南伊勢町、名張市、尾鷲市、県外(宮城県)	環境保全、産業振興、観光振興、福祉、祭り・イベント	個人事業主と障がい者とNPOとの連携をもって、新しい雇用スタイルを創造する。現在実践中の雇用形態を、多様な業種に広げていく。	平21年 9月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
志摩市	あいらび ゆー I LOVE YOU	志摩市	-	文化芸術、祭り・イベント	音楽を通じた青少年育成への貢献をめざし、子どもたちと一緒に音楽活動をしている。その中で、将来地元に残り、同じ思いで活動してくれる人材が育ち、ひいては地域の活性化につながる活動をめざしていく。	平21年 9月
志摩市	とくていひえいり かつどうほうじん びーす 特定非営利活動法人 Peace わーかーず Workers	志摩市	南伊勢町	福祉、総合的なまちづくり	多様な主体と連携して、障がいのある人が「移住したい」と思えるような福祉環境の充実した志摩市をめざしていく。	平21年 9月
志摩市	しま 志摩いきいきコンプの会	志摩市	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、朝日町、川越町、菰野町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町、県外	食、環境保全、海づくり、産業振興、保健	ミネラルやアルギン酸を多く含み、また新たな多様な活用の可能性を秘めているコンブは、海環境対策・CO2の吸収にも貢献している。 このコンブの養殖を進め、コンブを使った多様な活用や商品化の研究を行い、販路を開拓することで、コンブの普及をはかっていく。	平22年 1月
志摩市	からだ 体にやさしいマクロビオティック お勝手口	志摩市	伊勢市、度会町	食、環境保全、保健	ジャンクフード漬けの食事を見直し、かつての日本の食事のように、地域の自然からの恵みを大切にする調和のとれた食生活を取り戻すための支援を行っていく。	平22年 2月
志摩市	ありのり もとば 安乗藻場プロジェクト	志摩市	-	食、環境保全、海づくり、産業振興	海環境を保全するために必要不可欠な藻場の再生に取り組んでいる。セミナーや勉強会を積極的に行うことで、県内の環境問題に取り組むグループとの連携を深めていくとともに、藻場海藻着生が良好であれば、漁協などの関係機関や行政の協力を得て、志摩近郊の漁場への藻場設置やホワイテ海老などの陸上養殖への藻場活用などの取組を進めていく。	平22年 3月
志摩市	おかずきのいどころね	志摩市	津市、松阪市、多気町、大台町、伊勢市、鳥羽市	食、環境保全、景観形成、森づくり、海づくり、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	子どもから高齢者まで幅広く対象とした“さんじげん・エコ・あ〜と”(古新聞紙、古段ボール、ペットボトルなどを活用した立体アート)を通じて、高齢者の生き甲斐づくりや、地域の新たな価値を育む新しい力の育成などを支援する。志摩市を本拠地として、県内各地の自然・観光・文化・産業振興・食・福祉・教育などの分野と連携をはかり、地域おこしに貢献する取組を進めていく。	平22年 3月
志摩市	とくていひえいりかつかつどうほうじん 特定非営利活動法人 志摩総合 サービス	志摩市	伊勢市、鳥羽市、南伊勢町	食、環境保全、景観形成、森づくり、海づくり、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、防災、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	安心して暮らせるまちづくり、誇れるまちづくりをめざして、災害(防災)支援活動、環境づくり支援活動、地域振興活動、福祉活動といった多くの分野での活動を通じて、地域社会に貢献していく。	平22年 3月
志摩市	とくていひえいりかつかつどうほうじん 特定非営利活動法人 志摩ネット サポート	志摩市	-	環境保全、産業振興、観光振興、福祉、総合的なまちづくり	年4回の海浜掃除、河川環境整備活動、子どもたちとのEM活性液の散布、海藻・真珠貝・魚・公共から出る残飯を利用した肥料作り事業を行っている。今後は英虞湾を利用した観光政策、まちづくり事業、高齢者向けの福祉有償運送の実現に取り組む、元気な志摩・明るい志摩・福祉の志摩をめざしていく。	平22年 4月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
志摩市	ありがと わーくす arigato works	志摩市	いなべ市、四日市市、南伊勢町	産業振興、観光振興、祭り・イベント	地域の人たちと連携して地元の情報を収集し、志摩市、南伊勢町の特産品・イベント・自然・祭り・人等を三重県全域や他県へ紹介するような情報がつまったウェブサイトを運営することにより、地域の活性化につなげていく。	平23年 2月
玉城町	さんぐうブランド『擬革紙』の会	玉城町	松阪市、明和町、伊勢市	環境保全、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、その他(歴史文化的産業復興)	江戸時代から昭和初期まで、伊勢地方一円で生産されていた「擬革紙」の復興を通して、文化的に高く評価されてきたこの地方のかつての工業技術力の証として、また、文化力立県のシンボルのひとつとして、広く情報発信していく。	平21年 6月
玉城町	さとやまやくしよ化く 里山薬食塾 しえあわせ	玉城町	松阪市、多気町、明和町、伊勢市	食、環境保全、森づくり、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、防災、医療、福祉、祭り・イベント	畑付きの里山古民家「鶯櫻庵(おうおうあん)」を中心に、食農教育を通じて子どもたちに体験型の食育を行うとともに、日本古来の知恵や日本の文化を正しく伝承する自然塾を開催する。	平21年 6月
玉城町	うまに 美し国ツアーズ	玉城町	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、朝日町、川越町、菟野町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町、県外	食、産業振興、観光振興、総合的なまちづくり、その他(グループのネットワーク化)	観光業の知識を生かして、それぞれのグループが行っている活動を結び、それらをめぐる「美(うま)し国」ツアーを企画・実施し、地域の活性化につなげていく。	平21年 10月
玉城町	えみり 笑みの杜	玉城町	-	産業振興、総合的なまちづくり	町内に転入された方への身近な暮らし情報の提供や地域に根ざした役立つ知恵のアドバイスを行う「女性のくらし応援隊」を結成し、まちの賑わいや地域住民のつながりを創出していく。	平22年 2月
玉城町	あぐり竹友会	玉城町	-	環境保全、景観形成、森づくり、総合的なまちづくり、祭り・イベント	荒廃した竹やぶをボランティア活動により整備し、切った竹は竹炭、竹酢液の製造や、竹細工製品等の製作に活用するなど、竹の有効利用、活用について研究している。 これらの活動を通じ、“健康で元気な仲間づくり”を進め、竹林整備についての地域の理解や協力を促進することによって、地域の環境整備や活性化を推進していく。	平22年 10月
玉城町	たまき えんげいこうかい 玉城演劇愛好会	玉城町	-	文化芸術、その他(演劇公演)	毎年一回の演劇公演で地域の偉人や昔話等を紹介し、玉城町の素晴らしさを情報発信している。小学生から高齢者まで世代を越えた交流を深め、演劇活動を進めることにより、地域の人々を元気にし、地域の活性化に貢献していく。	平23年 2月
度会町	みなみなかわら めいしよきゆうせき まも かい 南中村の名所旧跡を守る会	度会町	-	景観形成、観光振興、教育、その他(伝統財等保護)	「おうむ石(いわ)」、「南勢新四国八十八箇所」など地域で守ってきた名所旧跡がたくさんあるが、こうした度会町の歴史・文化・自然のすばらしさを、民の立場で発信し、地域活性化の一翼を担う。	平21年 8月
度会町	おとめ いわ まも かい 乙女岩を守る会	度会町	-	景観形成、観光振興、教育、その他(伝統財等保護)	「乙女岩」をはじめとする歴史的文化的資産を守り、継続していくことを通じて、地域の活性化をはかり、健康で文化的な地域共同社会の発展に寄与することをめざす。	平21年 8月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
度会町	牛草山を守る会 牛草山を守る会	度会町	伊勢市、南伊勢町	環境保全、景観形成、観光振興、文化芸術、健康	牛草山登山道の整備作業、自然環境の保全維持、町内外から訪れる登山者の案内、近隣地域の隠れた名所旧跡の案内、当地の自然資源や文化資源の調査研究を行うことにより、町の観光活性化や、地域の活性化、地域の文化振興を推進する。	平22年 10月
度会町	五輪堂を守る会 五輪堂を守る会	度会町	伊勢市、玉城町、南伊勢町	環境保全、観光振興、文化芸術、祭り・イベント	大蛇伝説のある五輪堂がまちの観光スポットとなるよう、来訪者や観光客の案内、五輪堂及び周辺の名所案内及び環境整備、牛草山や虎ヶ岳の登山散策のコース整備を行い、地域の活性化と文化振興を推進する。	平22年 10月
度会町	火打石を守る会 火打石を守る会	度会町	南伊勢町	環境保全、景観形成、観光振興、文化芸術	天然記念物に指定されている火打石の歴史や文化を継承し、その保存・防災・活用に取り組むとともに、語り部の養成や、散策歩道の整備を行うことにより、町の観光を推進し、地域の活性化と文化振興を推進する。	平22年 10月
大紀町	アンチョビ・サーデン錦 アンチョビ・サーデン錦	大紀町	松阪市、紀北町	食、環境保全、産業振興、観光振興、健康	地域で捕れる市場に出ない魚や安い小魚を、県内でとれる菜種油、塩を使うなどのこだわりや保存方法の研究を通じて、アンチョビ・オイルサーデンなどに調理加工、特産品化するとともに、独自の新しい食べ方を開発していく。活動を通じて地域の新しい資源を創造し、情報発信、誘客につなげ、地域の活性化に寄与していく。	平22年 6月
大紀町	ISOMON ISOMON	大紀町	-	食、環境保全、文化芸術、スポーツ、祭り・イベント	トロピカルガーデン・錦向井ヶ浜遊パークで、海開きイベントを通じて地域の活性化をはかっていく。また地元の失われつつある祭りや行事の継承保護に取り組む、錦地区の祭り・文化の伝承、行事の振興を進めていく。	平22年 6月
大紀町	なごみ会 なごみ会	大紀町	津市、松阪市、大台町、伊勢市、志摩市、尾鷲市、紀北町	食、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、福祉、祭り・イベント	茶道・華道の伝統文化を次の世代へ継承し、人と人とのつながりや、和の心、自然とのふれあいを伝えることにより、地域内外の交流を進め、地域の活性化につなげていく。子どもたちの情操や感性を育み、地域への愛着や誇りにつなげるとともに、日本の礼儀作法及び茶道・華道に関する歴史に対する理解を深め、幅広い年齢層の住民と交流を深めていく。	平22年 6月
南伊勢町	南伊勢海の扇会 南伊勢海の扇会	南伊勢町	南伊勢町	食、海づくり、産業振興	ひおうぎ貝等の南伊勢町の特産品である海産物の知名度を上げることで、その需要を拡大させ、養殖等の漁業の活性化をめざしていく。今後は、さまざまなイベントや展示会等に参加し、PRを行っていくとともに、調理・加工方法や、販売方法を研究するなど、PRの仕方の工夫もしていく。	平22年 4月
名張市	乱歩蔵びらきの会 乱歩蔵びらきの会	名張市	-	文化芸術、教育、祭り・イベント	江戸川乱歩の生誕地である名張における顕彰を原点として、市民、とりわけ小学生・中学生に乱歩作品に親しんでもらい、それを通じて乱歩が生まれたわが町・名張を誇りに思う市民を増やしていく。	平21年 7月
名張市	特定非営利活動法人和嬉会愛 特定非営利活動法人和嬉会愛	名張市	-	福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	果樹やシイタケを栽培をするバリアフリーの森を手づくりで新興住宅地の中につくり、そこで実施するイベント等を通して人と人を繋げ、障がい者や認知症をもつ高齢者などが、地域の中で生きがいを感じ、役割のある生活ができるまちづくり、子どもたちを地域の人が互いに見守り、支えあえるまちづくりをめざしていく。	平22年 3月



市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
名張市	あおぞら・ベリー・下三谷園	名張市	伊賀市	食、環境保全、景観形成、森づくり、観光振興、教育、健康、福祉、祭り・イベント	名張川河畔の耕作放棄地を、ブルーベリー等の果樹やそば等の栽培を行い、それら食材を加工して提供する自然公園として再生し、子どもからお年寄りまでが集い、交流できる場として活用することにより、地域の活性化をめざしていく。	平22年 12月
名張市	なばり 名張シンクス	名張市	伊賀市、奈良県、大阪府、京都府、岐阜県	観光振興、文化芸術、祭り・イベント	「伊賀の手づくり作家展」において、陶芸や木工など分野を越えたあらゆる手づくり作品の展示を行うとともに、来場者と作家や、作家同士の交流をはかることにより、文化芸術の振興や、関西・中部との交流に取り組んでいる。また、地元のみちづくり推進協議会等と連携して、地域の祭りやイベントに参加・支援することにより地域の活性化に貢献していく。	平22年 12月
名張市	くひも 組み紐ルネッサンス・伊賀	名張市	四日市市、菟野町、亀山市、伊賀市、兵庫県姫路市、奈良県桜井市	産業振興、観光振興、文化芸術、祭り・イベント	伊賀の伝統産業である組紐の製造を営んでいた方から譲り受けた組紐や絹糸、糸巻き等の道具類を活用して、制作した作品を新しい形の産業・工芸品に発展させることをめざしていく。	平23年 3月
伊賀市	いがしまがはら 伊賀・島ヶ原おかみさんの会「夢の道」グループ	伊賀市	-	食	おもてなしの心を軸として、島ヶ原の良さを発信するために、NPO法人「伊賀・島ヶ原おかみさんの会」で運営している喫茶軽食「夢の道」において、地産地消をモットーに安心安全の食材で手づくり「おかみさん膳」を提供している。風土を生かした新たなメニューを開発し、集客交流をはかっていく。	平21年 9月
伊賀市	とくていひえいり 特定非営利活動法人 ユニバーサルデザイン同夢	伊賀市	四日市市、津市、名張市	教育、防災、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	すべての人が共に支え合って暮らすことのできるユニバーサルデザインのまちづくりをめざす活動で培ったノウハウを、各種の団体が開催する「イベント」の運営に生かすことにより、地域社会に貢献していく。	平21年 10月
伊賀市	らいいきゃんぷ ライブキャンプ実行委員会 青少年の居場所「音家」	伊賀市	津市、名張市	文化芸術、教育、祭り・イベント	ジャンルにこだわらずライブ活動を行う人を広くサポートすることによって音楽を通じた世代間・国際間の交流、青少年の健全育成をはかるとともに、セミナーを開催し音楽技術と精神面での向上をはかっていく。併せて、情報発信を活性化することにより、集客交流にもつなげていく。	平21年 10月
伊賀市	ほんひと 本と人の交流の館 - 陽だまりぶんこ 文庫	伊賀市	名張市	文化芸術、教育、福祉、総合的なまちづくり	地域文庫を地域のサロンの場として運営していく中で、子どもたちのことを地域の大人たちが考えていく場や、子育てに関係する団体等のネットワークづくりの場となるような活動をめざし、「子どもたちがのびのび暮らせる地域」づくりに取り組んでいく。	平21年 11月
伊賀市	いどう いが移動送迎連絡会	伊賀市	名張市	医療、福祉、総合的なまちづくり	高齢者や障がいのある方をはじめとする移動制約者への日常生活の移動支援を行うために、福祉有償輸送団体などのネットワーク化や地域公共交通に関する調査研究等を行い、安定した送迎手段の確立をめざしていく。	平21年 12月
伊賀市	たねおこ 種生区活性化計画推進委員会	伊賀市	-	その他(施設の有効活用による都市住民との交流)	中山間地域にあって、「自然に囲まれ、心豊かに安心して過ごせる地域づくり」を目標に掲げて10年間培ってきた地域づくりの活動をベースとして、平成20年度に当地区にオープンした交流施設「青山・ハーモニーフォレスト」を多くの都市住民に利用してもらえる集客施設に育てるとともに、地元「種生」の良さを広く外部に発信していく。	平22年 2月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
伊賀市	伊賀忍者研究会 い が にんじやけんきゅうかい	伊賀市	名張市	産業振興、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント	伊賀忍者の調査研究、パンフレットの作成やイベント等の普及活動、さらに外国人への忍者のPRを行うことにより、忍者のふるさと「伊賀」を日本・世界へ発信し、地域の経済及び文化教育面での活性化に寄与していく。	平22年 3月
伊賀市	長田なたねの郷づくりの会 ながた なたねの せむしづくりの かい	伊賀市	-	産業振興	長田地区は、三重県内でも有名な伊賀米の産地であるが、遊休農地・耕作放棄地等が次第に多くなってきたため、景観作物となるひまわり・なたねを栽培し、搾油までの6次産業化に取り組んできた。「長田産なたね油」を地域ブランドとして販路拡大をはかることにより、地域農業の活性化と更なる遊休農地活用・再生の取組を進めていく。	平22年 3月
伊賀市	笑みの市運営委員会 え みの し いちやんえい いんかい	伊賀市	鳥羽市	食、産業振興	健康野菜の栽培、料理の研究などの比自岐地区の女性たちの取組と鳥羽市答志町との交流を進展させるために、「笑みの市」を開設しており、高齢者の健康づくり・生きがい対策の場にもなっている。安全・安心な野菜の販路拡大と併せ、加工品や答志町産の海産物とコラボした商品の開発、さらに休校中の小学校跡地や空き家等を利活用した加工作業所・農家レストランの開設をめざしていく。	平22年 3月
伊賀市	キャロパン	伊賀市	-	食	大仙湖を望む風光明媚な土地で、地域の食材(野菜)、美味しい空気とおいしい水を使って、パンを作る活動を中心に、地域の人たちや地域外の人々が楽しく憩えるコミュニティの場を提供していく。	平22年 4月
伊賀市	伊賀上野芭蕉翁ネットワーク い が うえの ばしやうおう ネットワーク	伊賀市	東京	観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり	松尾芭蕉翁の生誕地である伊賀の地で、関係する団体のネットワークをつくり、個別の活動を統合して実施、情報発信していくことによって、偉大な先人の教えを学び、翁の遺徳を尊び、多くの顕彰事業を効率よく紡ぎ、精度の高い市民参加の事業を行っていくことをめざしていく。	平22年 5月
伊賀市	ホツプロ実行委員会 ほつぷろ じっこう いっかい	伊賀市	大阪府、京都府、兵庫県、愛知県	環境保全、森づくり、産業振興、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント	都市部の幅広い世代の人たちを対象とする、木材資源を生かしたものづくり教室の開催をはじめ、さまざまな活動を行うことによって、伊賀市島ヶ原地区で生活する人々との交流をはかりながら、島ヶ原地区を元気にしていくことをめざしていく。	平22年 8月
伊賀市	神戸地区住民自治協議会産業うぶかい部会 かんべ きくじくじゆうみんじち きやうざいさんぎょうぶかい	伊賀市	-	食、産業振興、観光振興、総合的なまちづくり	伊賀市神戸地域の農家が生産する「安心・安全・安価」な生産物を青空市場(かんべいきいき市)で提供することによって、生産者と消費者との交流、雇用や生きがいづくりなど地域の活性化に寄与することをめざしていく。	平22年 8月
伊賀市	森を考える会 もり かんが かい	伊賀市	-	環境保全、景観形成、森づくり、祭り・イベント	森林本来の機能と景観回復に取り組むため、伊賀市の布引、阿波地区において、会員の技術力向上、後継者の育成をはかるとともに、都会との交流をはかるため宿泊施設等と連携した体験プログラムの開発をめざしていく。	平23年 2月
尾鷲市	農事生産塾「向井の里」 のうじせいさんじゅく むかい さと せむしせいさんじゅく	尾鷲市	-	食、環境保全、景観形成、産業振興、観光振興、祭り・イベント	農業生産性向上の研究と経営、農産物加工食品の開発と販売、休耕田の活用と生産者増に取組み、地区全体を巻き込んだ活動へと発展させていく。	平21年 6月
尾鷲市	刻字グループ「でくのぼう会」 くじ ろうごグループ「でくのぼうかい	尾鷲市	津市、紀北町、熊野市、御浜町	文化芸術、教育、総合的なまちづくり	刻字の体験、イベント等を通じて、地域の活性化や、連携をはかることを目的に、イベントへの出展、他団体のイベントとの連携等を実施する。	平21年 7月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
尾鷲市	は葉っぱがドクター	尾鷲市	紀北町、熊野市	食、環境保全、森づくり、産業振興	食と健康をキーワードに、地域資源を生かした食のブランド化と、幅広い年代による体験交流プランの創出をはかる。	平21年 7月
尾鷲市	へのへのもへ座	尾鷲市	紀北町	文化芸術、教育、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	イベントを通じて、会員も周りの人も楽しめることをめざし、老人ホームの慰問、各種イベント時の出展等、地域のにぎわいづくりを行ってきた。今後、地域の民話にちなんだ「オコゼ」の絵本の作成や情報発信で尾鷲を全国に売り出していく。	平21年 9月
尾鷲市	ひがしきしゅう 東紀州コミュニティデザインセンター	尾鷲市	紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町	環境保全、産業振興、観光振興、文化芸術、防災、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(中間支援)	地域コミュニティの中間支援センターをめざして設立し、ゴミナビゲートやチャレンジショップ等においてその役割を担ってきた。今後は、人材確保及び育成にも取り組んでいく。	平21年 10月
尾鷲市	ほづん てんまうらひやくにんかい NPO法人 天満浦百人会	尾鷲市	紀北町	食、産業振興、総合的なまちづくり、祭り・イベント	「天満浦から尾鷲をにぎやかにする」を目的に、ランチバイキング、食の伝承、体験、地域の産品を利用した特産品づくり等の活動を行ってきた。今後は、これらの活動を通じて、古民家(天満荘)を拠点とした地域おこしをめざしていく。	平21年 10月
尾鷲市	ひのつく Hinokku	尾鷲市	紀北町	環境保全、森づくり、産業振興、文化芸術、防災、総合的なまちづくり、祭り・イベント	尾鷲ヒノキの間伐材や端材を使って木工品を作ったり、木工教室を開催することにより、木の魅力を発信するとともに、環境保全教育や森づくりにつなげる取組を行っていく。	平21年 11月
尾鷲市	ほづん えこる NPO法人 海虹路	尾鷲市	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、菰野町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町、県外	食、環境保全、森づくり、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	公民館や学校、県内外のイベント等で、「尾鷲ひのき」を利用した作品づくりの指導やエコクラフト体験、植樹等に取り組んでいる。「尾鷲ひのき」に関する芸術文化の振興とともに、森づくりをはじめとする環境保護、環境教育を推進していく。	平22年 1月
尾鷲市	たい みきうらげんまいたい 鯛のまち三木浦元気隊	尾鷲市	-	食、海づくり、産業振興、教育	三木浦の基幹産業である「鯛」をもっと食してもらうしくみづくりを行い、鯛のまち三木浦を全国に発信する。昔ながらの地元の祭りの復活や、他の地域との交流などを通じて、地域の良さをアピールしていく。	平22年 2月
尾鷲市	くまのかいどう 熊野海道エクスペディション	尾鷲市	伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会町、南伊勢町、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町、県外(和歌山県田辺市本宮町)	海づくり、観光振興、スポーツ	紀伊半島が持つ世界に誇れる自然環境の中で、この地域の良さを伝えるため、カヤックガイドを中心として活動している。他の団体とも連携し、熊野発の「海の道」として、世界に発信できるツアーづくり等に取り組んでいく。	平22年 3月
尾鷲市	きしゅう いーえむ 紀州EMひろば	尾鷲市	紀北町、熊野市	食、環境保全、海づくり、教育、健康	EM菌で環境の汚染源を浄化源に変え、循環型社会をめざしていく。講習会の開催や、EMを定期的に供給することで、EM技術の情報提供や支援を行い、地元高校生や婦人会等地域での取組の裾野を広げ、豊かな熊野灘の復活をめざしていく。	平22年 5月
尾鷲市	まこせや 馬越屋	尾鷲市	紀北町	食、観光振興	馬越峠の降り口である中井町通りで、古道客のもてなしや、地域の人たちの交流の場を提供している。地域産品(野菜や土産物)の販売をさらに拡大し、地域の活性化に貢献していく。	平22年 6月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
尾鷲市	あばばい九鬼	尾鷲市	紀北町	食、景観形成、森づくり、海づくり、観光振興	地元でしか食べられない食材を活用した料理の提供や、定置網や林業の体験を検討し、九鬼地区の定置網と林業を軸にして、地域資源を活用した魅力あるまちづくりを進めていく。	平22年7月
尾鷲市	おわせ尾鷲おさかなバーガー	尾鷲市	-	食、産業振興、観光振興、総合的なまちづくり	尾鷲の魅力発信のためのメインテーマを「食」とし、尾鷲特有の食文化を発信するとともに、若い世代に受け継いでもらう働きかけを行っていく。	平22年8月
尾鷲市	のーじへいこらい	尾鷲市	-	食、産業振興、観光振興、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(集いの場の提供)	尾鷲のまちなかを活性化するため、商店街の空き店舗を活用して、週末に地元産の野菜や地域の特産品を販売している。高齢者や子供連れの人たちが気楽に集まれる場所づくりを進めていく。	平22年9月
尾鷲市	かじかまち梶賀町おこし婦人会	尾鷲市	-	食、産業振興	梶賀町に昔から伝わる郷土食である「あぶり」をつくる技術の伝承と後継者育成をめざすとともに、あぶりを使った地域の魅力発信に取り組んでいく。	平22年11月
紀北町	ほうじんNPO法人 ふるさと企画舎	紀北町	-	環境保全、観光振興	「人・自然・歴史・文化」という地域資源の持つ可能性を生かし、体験を通じて地域の魅力を伝えることにより、地域住民や来訪者がともに当地域を大切な「ふるさと」と感じるまちづくりをすすめる。	平21年6月
紀北町	みやまの道の会 海山熊野古道の会	紀北町	-	環境保全、景観形成、観光振興	熊野古道に関する調査・維持・案内等の奉仕活動を行うとともに、熊野古道の周知に努め、熊野古道を活用したまちづくりをすすめる。	平21年6月
紀北町	しもごちの里山を守る会	紀北町	-	食、環境保全、景観形成、観光振興、祭り・イベント	地元の農産物とそば打ちの技術を生かした農家レストランと農産物直売所の整備、下河内ならではの体験活動を通じて、都市部との交流を促進し、人材及び後継者の確保をはかる。	平21年6月
紀北町	ごとううおあるかんかい 古道魚まち歩観会	紀北町	-	食、産業振興、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり	昔ながらの漁村の風景を残す魚まちなみを保全し、そこに伝わる漁業・文化・民話などを後世に伝えていくとともに、熊野古道を歩く観光客を魚まちに誘導して魚まちなみのすばらしさを伝え、地域活性化をはかる。	平21年6月
紀北町	てづくり工房・ワイワイ	紀北町	-	観光振興、文化芸術、福祉、総合的なまちづくり、その他(製作、販売)	古布、古紙を再利用した生活用品を製作することで、中高年の人たちがものづくりを通じて長く社会との関わりを持ち続けることを支援する。	平21年6月
紀北町	こうりゅうかん交流空間みやま	紀北町	-	景観形成、観光振興、総合的なまちづくり	集客拠点となっている熊野古道馬越峠に加えて、銚子川流域に「権兵衛の桜」という名所をつくり、町内の他の地域資源と連携させることにより、銚子川流域の魅力を情報発信し、集客交流に繋げていく。	平21年6月
紀北町	ゆるゆる悠遊くかん木海香の里	紀北町	尾鷲市	環境保全、産業振興、観光振興、保健、福祉、総合的なまちづくり	豊かな環境の保護・保全活動に取り組むとともに、地場産業に携わる人々などの知恵、技術を生かして、都市住民との滞在型交流体験事業等を進め、地域社会の活性化といやしの里づくりをめざす。	平21年7月
紀北町	ながしまえまえたまちく かつせいかい いんかい 長島駅前玉地区活性化委員会	紀北町	-	景観形成、総合的なまちづくり	高速道路延伸による紀伊長島地域の入り口となる「町道長島駅山本線沿線」の景観を美化し、来訪者のお出迎えエリアとなるよう整備する。	平21年7月
紀北町	おくがわ奥川ファーム	紀北町	大紀町	食、環境保全、景観形成、海づくり、産業振興、観光振興、教育、総合的なまちづくり、その他(観光農業)	1軒の農家を100世帯が支えることで、専業農家が成り立つしくみを作ることを目標とし、体験を通して顔の見える農業を行うことにより、都会の人々とのつながりを広げていく。	平21年8月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
紀北町	きほくのうまうしや かい 紀北農業者の会	紀北町	尾鷲市	食、産業振興、総合的なまちづくり	地域の農家のやりがい、生きがいをづくりをめざし、地産地消を目標に「農産物の直販所」を開設した。農業生産者と消費者とのふれあい交流の場として、顔の見えるつながりができる店をめざしていく。	平21年 9月
紀北町	うみも 海守り	紀北町	-	環境保全	海の磯焼け対策として、地元での環境再生の取組(さかなたちの森づくり・藻場造成)を通して、広く町の人々や漁業者の意識の向上をはかっていく。	平21年 9月
紀北町	きほく きょうどしよく い 紀北の郷土食を生かした弁当開発グループ	紀北町	尾鷲市	食、産業振興、観光振興	紀北地域でしか食べられない食材を使って、郷土食をアレンジした弁当を開発する。地元の農家や漁業者と連携し、熊野古道を訪れる観光客向けの弁当開発により、地域の活性化や観光振興につなげていく。	平21年 11月
紀北町	とくてい ひえいりり かつどうほうじん 特定非営利活動法人 ア・ピース・オブ・コスモス	紀北町	津市、尾鷲市	食、景観形成、産業振興、文化芸術、教育、総合的なまちづくり	古民家を取得・改修し、田舎における豊かな暮らしを発信する生活体験施設として活用するなど、地域の豊かな自然、歴史、文化を継承し、その良さを伝える活動に取り組んでいく。	平21年 11月
紀北町	みえけん 三重県グリーンツーリズムコミュニティ	紀北町	尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町	食、環境保全、景観形成、森づくり、海づくり、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	自然豊かな三重県でグリーンツーリズムを推進するため、地域で活動している「人、もの、コト」をつなげるネットワークの強化を進めている。今後は、新たな体験イベントや体験ツアー、商品開発など、グリーンツーリズムを通して、地域の活性化をめざしていく。	平21年 12月
紀北町	げんき 元気なふるさと村づくり塾	紀北町	-	食、景観形成、観光振興、総合的なまちづくり	「おかえりなさい ふるさとへ」をコンセプトに、訪れた人がほっとする「古里」地域をめざし、地域全体で風鈴の飾りつけ、「癒しの小道」の整備、外国人受入のための英会話教室等を行っている。あわせて、今後は、歳時記をもとにした地域の伝統文化行事の再現などの取組により地域の活性化をめざしていく。	平21年 12月
紀北町	クリエイティブチーム GAIA	紀北町	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、菰野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町、奈良県、大阪府、兵庫県	食、環境保全、森づくり、海づくり、産業振興、文化芸術、教育、防災、健康、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(商品開発)	地域の自然を舞台にした野外活動や、地域資源を活用した特産品の開発を行うことで、この地域にしかない「魅力ある田舎の素材」を生かした、魅力づくりを行い対外的にPRすることで、地域振興につなげていく。	平22年 6月
紀北町	みなといちかっせいかい 港市活性化委員会	紀北町	-	食、産業振興、観光振興、祭り・イベント	毎月第2土曜日に紀伊長島漁港で「港市」を開催している。港市だけでなく紀北町内へ誘客するよう、他のグループと連携して、情報を発信していくことで地域活性化に寄与していく。	平22年 7月
紀北町	きいながしまら かい 紀伊長島暮さん会	紀北町	-	食、産業振興、祭り・イベント、その他(移住促進)	遊休地や休耕田を活用した、農作業体験や、農産品を作る楽しみ、喜びを経験してもらうことにより、都会の人々に田舎の良さを発信していく。さらに、地域のグループと連携して活動し、紀北町への移住を促進していく。	平22年 7月
熊野市	よみがえれ大又川連絡協議会	熊野市	-	環境保全、景観形成、森づくり	熊野市の飛鳥町・五郷町を流れる大又川をきれいな水質に、また豊富な水量に戻そうと、広葉樹の植樹、水質調査、生活廃水の浄化などを進める。	平21年 8月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
熊野市	きのもとごとうどおかい 木本古道通りの会	熊野市	-	景観形成、産業振興、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント	熊野古道の一部である熊野市の本町通りを、にぎわいと活気に満ちた誇りあるまちとして再生するための活動を継続していく。	平21年 8月
熊野市	てんによざ てんによかい 天女座 天女の会	熊野市	全国、海外	文化芸術、祭り・イベント	廃工場を音楽ホールと喫茶店に改装し、コンサートの開催や地元で伝わる神楽の継承など、熊野市だけにとどまらず全国や海外にまでその活動範囲を広げており、今後、地域でのアートフェスティバルの開催に向けて活動していく。	平21年 8月
熊野市	くまのみやがわまもかい 熊野宮川を守る会	熊野市	-	環境保全、景観形成、産業振興、観光振興、総合的なまちづくり、祭り・イベント	熊野市の大泊町を流れる熊野宮川をきれいにしようと、清掃活動や水生生物の調査を行うとともに、宮川の周囲の休耕田を復田し、まこもやひまわりを植え、農村景観の維持に努めていく。	平21年 9月
熊野市	みえけん きょうかい 三重県ゆる協会	熊野市	津市、松阪市、鳥羽市、名張市、尾鷲市、御浜町、紀宝町、県外(和歌山県田辺市、新宮市、那智勝浦町)	防災、保健、福祉、総合的なまちづくり、その他(健康)	心と体の健康増進に寄与するため、体をゆるめる運動法である「ゆる体操」の普及活動を行っている。これを県内に広め、自主独立運営の方法を模索していく。	平21年 9月
熊野市	くまのごうかたべともかい 熊野古道語り部友の会	熊野市	尾鷲市、紀北町、御浜町、紀宝町	環境保全、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり	熊野古道を訪れる方に各峠の案内を行うとともに、古道の調査や研究を行うことにより、東紀州地域の活性化に寄与していく。	平21年 9月
熊野市	くまのくらぶかい 熊野倶楽部の会	熊野市	御浜町、紀宝町	食、環境保全、景観形成、産業振興、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント	「里創人 熊野倶楽部」を集客・交流の拠点として活用し、講演会や物産を核とした、参加・体験型のイベントを開催するとともに、地元住民と事業者とが連携することによって熊野地域全体の活性化をはかっていく。	平22年 7月
熊野市	ゆめ 夢はたす	熊野市	-	食、産業振興、健康、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(地域活性)	高齢化・過疎化していく波田須地区で、花見や盆踊り等地域の行事を復活させ区民の楽しみを広げるとともに、買い物代行等で生活の不便さを緩和することなどによって、地域の活性化をはかっていく。	平22年 10月
御浜町	くまのこどもみもりたい 神木子ども見守り隊	御浜町	-	その他(防犯、交通安全)	学童の交通安全、防犯運動の向上をめざし、登下校時の見守り活動を随時行い、地域の交通安全・防犯意識を高めていく。	平21年 8月
御浜町	ましゅうちくせいねんのうぎようしれんらくかい 紀州地区青年農業士連絡会	御浜町	熊野市、紀宝町	食、祭り・イベント、その他(農業振興)	将来の地域農業や農村振興の推進者として、農業改良に関する研究活動や地域農業振興計画づくり等へ参画している。今後、地域農業の課題解決に向けて中核的な役割を果たすことで地域社会に貢献していく。	平22年 3月
御浜町	みえなんき 三重南紀セミノール部会	御浜町	熊野市、紀宝町	食、産業振興、その他(農業振興)	地域特産品であるセミノール(甘くてジューシーなみかん)をジュース他さまざまな活用の可能性を追求するなど、付加価値のある商品開発などを通じて、広く消費者にアピールし、農業振興や、みかん(セミノール)を生かしたまちづくりにつなげていく。	平22年 5月
紀宝町	くまのうちい い きょうかい 神内生き活き協議会	紀宝町	-	食、環境保全、産業振興、観光振興、文化芸術	地元の農産物加工品の製造販売・販路開拓に取り組むことで誘客をはかるとともに、神内地域内を花一杯の住民の憩いの場にする活動などに取り組む。	平21年 5月
紀宝町	くまのがわ たいかんじゆく 熊野川体感塾	紀宝町	-	食、環境保全、景観形成、森づくり、観光振興、文化芸術	世界遺産の熊野川、川舟三反帆など、地域の歴史や生活文化を活用した観光事業を展開する。	平21年 5月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
紀宝町	紀宝楽居 <small>きほうらっきょ</small>	紀宝町	-	食、保健	高齢者の雇用創設を目的に、野菜(らっきょ)作りをビジネス化し、紀宝町の特産品化をめざすとともに、地元で畜産した肥料を使用するなど、地域の他産業と連携し、地域活性化に取り組んでいく。	平21年 6月
紀宝町	アクティブファーマーズ	紀宝町	熊野市、御浜町	食、産業振興、祭り・イベント	農業従事者の高齢化や後継者不足などの解決の一助となるような地域づくりに貢献する活動に取り組む。	平21年 7月
紀宝町	みんなのクラブネット紀宝 <small>みんなのクラブネットきほう</small>	紀宝町	-	環境保全、教育、保健、福祉、総合的なまちづくり	地域特性を生かした地域住民の健康づくり、地域社会の活性化に取り組むとともに、県内のスポーツクラブ有志で立ち上げた「みんなのクラブネット」の活動を県域で展開する。	平21年 7月
紀宝町	健康文化のまち推進会議町民部会 <small>けんこうぶんかすいしんかいちょうみんぶかい</small>	紀宝町	-	環境保全、森づくり、保健、福祉	健康体操(海亀ビクス)の創作とその普及活動、森林浴コースの整備とその普及活動、生ゴミの堆肥化活動、痴呆予防活動などを通じて、健康を切り口とした町づくり、地域づくりをめざしていく。	平21年 10月
紀宝町	チーム・バンバン	紀宝町	亀山市、津市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、名古屋市	食、産業振興	地域外から来た若者が、農業従事者の高齢化や後継者不足など農業を取り巻く厳しい環境に対して、新しい加工商品の開発やグリーンツーリズムなどの活動を行うことによって、地域の活性化をはかっていく。	平23年 1月

# 「海の命・森の命」テーマプロジェクト 平成22年度実施状況 ①-1

## I 自然環境の継続的な保全・再生プロジェクト

- I-1 まるごとソーシャルレジャー発信プロジェクト
- I-2 竹プロジェクト
- I-3 三重の森林と木づかいフェアプロジェクト
- I-4 海づくりプロジェクト

### I-1 まるごとソーシャルレジャー発信プロジェクト

自然環境の継続的な保全・回復の活動に、より多くの参加者や協力者を得るため、海岸清掃や竹林整備等の社会貢献活動に楽しみを加えた取組を「ソーシャルレジャー」として情報発信します。

★ Yahoo! ボランティアによる情報発信  
「ソーシャルレジャーで休日を楽しくすごそう!」と題し、Yahoo! ボランティア(ホームページ)の機能を利用して、11月にソーシャルレジャーのコーナーを新設し、情報発信しています。

★ ソーシャルレジャーPR用チラシの配布  
Yahoo! ボランティアのスタートに合わせて、「美(うま)し国おこし・三重」の取組趣旨とホームページアドレス等をお知らせする内容のチラシを県内各地で配布しています。



### I-2 竹プロジェクト

竹林の整備や活用といった、「竹」を中心に活動しているグループの活動の輪をさらに広げていくきっかけとなる取組を行います。

今回、第1弾としてバンブーエイド「桑西・竹の十三夜」を実施しました。

★ バンブーエイド「桑西・竹の十三夜」  
日時：平成22年10月20日(水) 15:30~20:00  
場所：桑名市志知東山 桑名西高等学校隣接地の竹林  
主催：「美し国おこし・三重」実行委員会  
協力：桑竹会(パートナーグループ)、桑名西高等学校、桑名北高等学校、地元連合自治会、地元連合農家組合等

参加者：200人  
概要：パートナーグループや高校生、地元住民の皆さんとともに、伐採竹の搬出や清掃活動、竹チップによる竹の遊歩道の整備、竹灯籠の設置などにより、幽幻的な雰囲気 연출し、竹林を楽しむ「バンブーエイド」を開催しました。今後、多様な主体で取り組む竹の活用や竹林整備について他地域への波及をめざします。

### ★ 竹メッセin多気

日時：平成23年3月6日(日) 10:00~16:10  
場所：多気郡多気町相可 多気町民文化会館 他  
主催：たき環境くらぶ「竹遊号」  
「美(うま)し国おこし・三重」実行委員会

来場者：200人  
概要：竹に関連した取組や活動を行っているパートナーグループや企業、研究機関、ボランティアに関心のある方たちが集まり、基調講演や事例発表、ブース出展、交流会などを通して、竹の有効活用について、様々な観点から情報交換や意見交換を行い、交流を深めました。

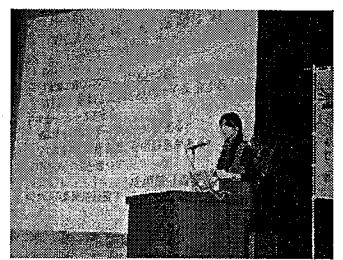
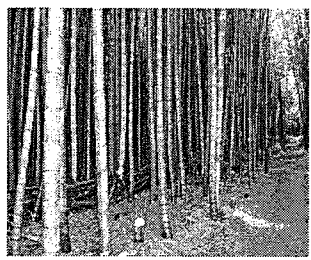


### I-3 三重の森林と木づかいフェアプロジェクト

県民の森林づくりに対する理解を深めるため、森づくり月間である10月に県が名張市で実施した「三重の森林(もり)と木づかいフェア」と連携し、森づくりの活動の交流・連携の輪を広げ、情報発信を行いました。

★ 三重の森林(もり)と木づかいフェア  
日時：平成22年10月2日(土) 10:00~16:00  
場所：名張市夏見 名張市総合体育館  
主催：三重県(環境森林部)  
共催：「美(うま)し国おこし・三重」実行委員会

来場者：4,400人  
概要：主に森林づくりに関連するパートナーグループに、ブース出展やステージ発表いただき、森林づくり関係者などとの交流・連携を図る機会としていただくとともに、今後の新たな連携のきっかけづくりとしました。





# 「海の命・森の命」テーマプロジェクト 平成22年度実施状況 ①-2

## I 自然環境の継続的な保全・再生プロジェクト

- I-1 まるごとソーシャルレジャー発信プロジェクト
- I-2 竹プロジェクト
- I-3 三重の森林と木づかいフェアプロジェクト
- I-4 海づくりプロジェクト

### I-4 海づくりプロジェクト

「里海」伊勢湾や熊野灘を再生し、豊かな海の恵みを取り戻すため、海づくりのグループ活動の輪を広げることをめざすプロジェクトです。

第1回三重の海づくりシンポジウムの開催に協力し、これを契機に海づくりに関連するグループの交流会を重ね、海岸清掃活動や啓発活動の実施につなげていきます。

#### ★ 第1回三重の海づくりシンポジウム

日時：平成22年8月21日（土）15:00～18:30

場所：四日市市楠町 四日市楠プラザ

主催：みえの海づくり実行委員会

（事務局：四日市ウミガメ保存会（パートナーグループ））

協力：「美（うま）し国おこし・三重」実行委員会

参加者：100人

概要：講演やミニコンサート、ミュージカルのほか、それぞれのグループの海づくりの活動紹介が行われ、交流のきっかけづくりが行われました。



# 「海の命・森の命」テーマプロジェクト 平成22年度実施状況 ②

## Ⅱ 自然の恵みの循環と活用プロジェクト

- Ⅱ-1 ぐるぐるアグリ・ネットワークプロジェクト
- Ⅱ-2 ぐるぐるアグリ・マーケットプロジェクト

### Ⅱ-1 ぐるぐるアグリ・ネットワークプロジェクト

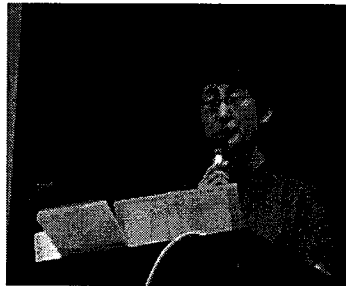
生ごみや未活用な有機資源の堆肥化を進めているグループ、農産物生産者、販売者、消費者をつなぎ地域単位での「地域リサイクルループ（地域資源のリサイクル循環）」の形成と、コミュニティの絆づくりを進めます。さらに、成功体験を共有する等の情報交換や勉強会の場として、県内で広域的に「やわらかいネットワーク」づくりを行い、全県的な広がりをめざします。

★ 講演会（「地域資源と台所をつなぐ」）及び交流会（ワールド・カフェ方式）  
（テーマプロジェクトミーティング）

日時：平成22年8月22日（日）13:30～16:30  
場所：東員町大字山田 東員町保健福祉センター  
主催：NPO法人生ごみリサイクル思考の会（パートナーグループ）

協力：「美（うま）し国おこし・三重」実行委員会  
参加者：講演会94人、交流会46人

概要：第1弾として、生ごみリサイクルにかかる講演会の開催に協力し、関係者の交流会を、ワールドカフェ方式で実施し、連携のきっかけづくりとしました。



★ 生ごみリサイクルフォーラムin鳥羽  
（テーマプロジェクトミーティング）

日時：平成23年2月4日（金）～5日（土）  
場所：鳥羽市鳥羽 戸田家

主催：NPOとばりリサイクルネットワーク（パートナーグループ）

共催：鳥羽市、「美（うま）し国おこし・三重」実行委員会

参加者：講演・発表会161人、分科会 60人

概要：第2弾として、鳥羽市でフォーラム（講演・事例発表・分科会・全体討議）を開催し、生ごみの堆肥化への取組事例の発表や分科会でのリサイクルループの取組を進める上での課題などについて討議しました。活動を行う住民グループや行政、企業が、今後の活動に生かすための情報交換を行うとともに、交流を通じて今後さらに取組の輪を広げる契機としました。

### Ⅱ-2 ぐるぐるアグリ・マーケットプロジェクト

ぐるぐるアグリ・ネットワークプロジェクトの地域リサイクルループの中で生じる農産物等の販路確保及び地域リサイクルループの認知拡大のための取組を展開していきます。

★ 四日市大学学園祭への出店

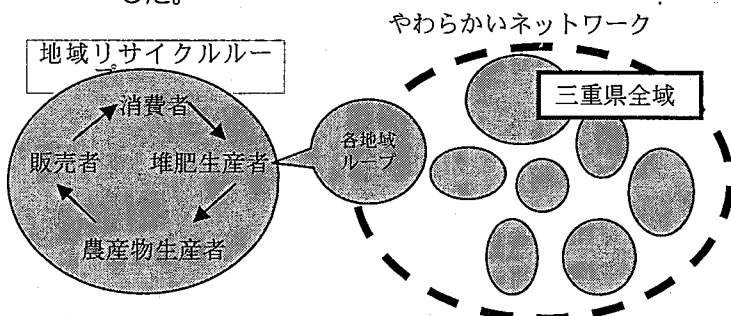
日時：平成22年10月23日（土）～24日（日）  
場所：四日市市営生 四日市大学

主催：「美（うま）し国おこし・三重」実行委員会  
概要：四日市大学の大学祭に大くすファーム、ぼっかぼかの会などパートナーグループが出展し、販売及びPRを行いました。

★ 亀山食の祭典への出店

日時：平成22年11月21日（日）  
10:00～15:00

場所：亀山市東御幸町 亀山市文化会館  
主催：「美（うま）し国おこし・三重」実行委員会  
来場者：5,000人  
概要：亀山食の祭典にぼっかぼかの会（パートナーグループ）が出展し、販売及びPRを行いました。



# 「海の命・森の命」テーマプロジェクト 平成22年度実施状況 ③

## Ⅲ 自然の持つ新たな魅力の発見と創造プロジェクト

- Ⅲ-1 三重南部体験プログラム開発プロジェクト
- Ⅲ-2 ニューツーリズムプロジェクト

### Ⅲ-1 三重南部体験プログラム開発プロジェクト

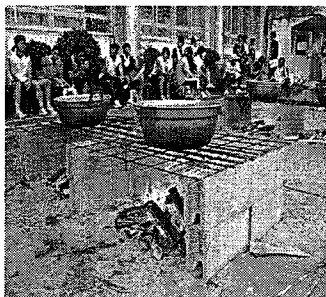
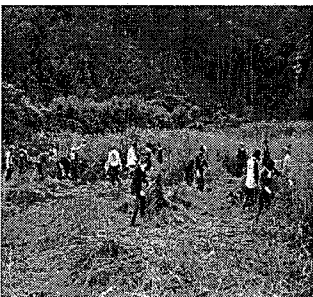
海・山・川といった地域の豊かな自然資源を生かし、三重南部地域（松阪・伊勢志摩地域～東紀州地域）において、小学生・中学生・高校生・大学生などを対象とした宿泊型の体験合宿など教育的視点に立った各種体験プログラムやしくみ、受け入れ体制の構築をめざします。

第1弾として、関西大学サッカー部の体験合宿を受け入れ、モニターを実施しました。

★関西大学サッカー部の受け入れとモニター  
日時：平成22年8月11日（水）～13日（金）  
場所：多気町、尾鷲市、紀北町  
主催：どんぐりの会（パートナーグループ）  
共催：「美（うま）し国おこし・三重」実行委員会

参加者：学生156人

概要：体験プログラムとして、あばばい九鬼、奥川ファームなどのパートナーグループの受入により荒れた田んぼの復元、地域のごみステーションの製作、大敷網の清掃補修、竹林整備などを実施しました。今後、モニター結果を生かして、受け入れ体制の構築など体験プログラムの開発をめざします。



### Ⅲ-2 ニューツーリズムプロジェクト

三重の自然が持つ癒し、健康、精神性といった自然の新たな魅力を再発見し、新たな集客・体験交流へと結びつけるニューツーリズムを促進します。第1弾として次のフォーラムとモニターツアーを実施しました。今後、県内の他地域でのモニターツアーも検討し、新たな集客体験交流や商品開発等につなげていきます。

★「ココロとカラダの健康ツーリズム」フォーラム  
日時：平成22年10月16日（土）9:30～17:10  
場所：伊勢市朝熊町 三重県営サンアリーナレセプションルーム  
主催：医食同源みえ（パートナーグループ）  
共催：「美（うま）し国おこし・三重」実行委員会など

参加者：50人

概要：新しいツーリズム形態の情報発信を行う

「フォーラム」（「地球交響曲第七番（ガイアシンフォニー第7番）」上映会と講演・パネルディスカッション）を開催しました。



★「ココロとカラダの健康ツーリズム」モニターツアー

日時：平成22年10月17日（日）9:30～17:00  
場所：多気町（旧勢和村）車川 油田公園  
主催：医食同源みえ（パートナーグループ）  
共催：「美（うま）し国おこし・三重」実行委員会など

参加者：20人

概要：ヨガ、薬膳料理体験と薬草ウォーキング等を開催しました。



★ココロとカラダの健康ツーリズム交流会（テーマプロジェクトミーティング）

日時：平成22年11月14日（日）15:30～17:00  
場所：多気町相可1587-1 多気町民文化会館ホール  
主催：医食同源みえ（パートナーグループ）  
共催：「美（うま）し国おこし・三重」実行委員会

参加者：20人

概要：車川地区でのモニターツアーなどの事例紹介やココロとカラダの健康ツーリズムの今後のあり方について交流会を実施しました。

# 「海の命・森の命」テーマプロジェクト 平成22年度実施状況 ④

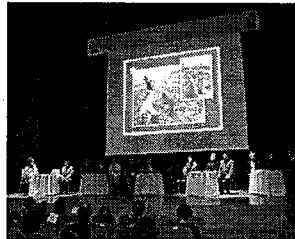
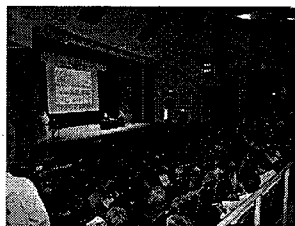
## 複数のテーマプロジェクトにかかる拡大座談会等 (テーマプロジェクトミーティング)

### ●平成22年度「美(うま)し国おこし・三重」活動報告・交流会 (人と自然の絆づくりにかかるワークショップ、人と地域の絆づくりにかかるワールドカフェ)

平成22年度の活動報告や、テーマプロジェクトに関連したワークショップ、ワールドカフェを開催し、今後の具体的な連携や展開を模索しました。

日時：平成22年12月18日(土) 13:00~16:30  
場所：津市栗真町屋町1577 三重大学三翠ホール  
主催：「美(うま)し国おこし・三重」実行委員会  
共催：三重大学  
参加者：583人

概要：会場を三重大学に設定し、大学生50人など若い世代の参加を得て開催しました。活動報告会では、「地域での美(うま)し国おこし」、「テーマに基づき全県的に取り組む美(うま)し国おこし」等に取り組む9つのグループから発表を行っていただいたり、テーマプロジェクトに関連して、「ソーシャルレジャーで楽しく環境活動しよう!」、「資源循環のしくみづくりを広めよう!」、「新たな体験交流プログラムを作ろう!」の3つのワークショップを開催し、今後のプロジェクトの具体化に向けて意見交換を行いました。



### ●人と自然、人と地域の絆づくりにかかる桑員地域 拡大座談会 (テーマプロジェクトミーティング~人と自然、人と地域の絆づくり)

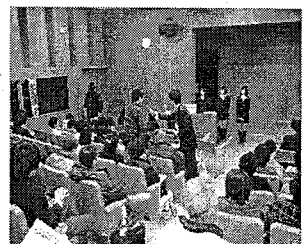
いなべ市、東員町を中心とした桑員地域で地域づくりに取り組まれ皆さんが、地域や世代を超えて、新たな交流・連携を行うとともに、人と自然、人と地域の絆づくりにかかる新たな取組の造成につなげようと、講演会や事例発表、ワークショップなどを開催しました。

日時：平成23年2月12日(土) 10:00~16:45  
場所：いなべ市員弁町御園632

三重県立いなべ総合学園高等学校  
主催：「美(うま)し国おこし・三重」実行委員会  
共催：いなべ市、東員町、とういんボランティア市民活動支援センター  
協力：三重県立いなべ総合学園高等学校、三重県立桑名西高等学校放送部、三重県立相可高等学校食物調理科

参加者：180人

概要：体験ツーリズムの実践や特産品開発販路開拓など地域資源を生かした地域づくりにかかるゲストトーク、第2回観光甲子園本選出場校高校生によるプレゼンテーション、第1回観光甲子園グランプリ受賞校ドキュメンタリー映像上映、地域のヒカリの魅せ方についてのワークショップを開催し、今後の新たな取組の展開につなげることにしました。



# 平成22年度「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組に係る パートナーグループアンケート結果について（概要）

平成23年6月13日  
「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」実行委員会事務局

## 1 アンケートの目的

これまでの「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組が、パートナーグループに登録いただいた皆さんの活動を充実させるものとなっているかどうかを検証し、今後の取組をより良いものとしていくため、下表の内容により各パートナーグループへのアンケートを実施しました。

検証項目	設問内容
取組の認知方法	本取組を認知した媒体【設問1】 ※H22年度登録パートナーグループのみへの設問
活動の充実 及びサポートメニューの満足度	自らの活動に関する充実意識【設問2】 サポートに関する満足意識、育成研修【設問3】 テーマプロジェクトへの意見【設問4】 ネットワーク数とその内容【設問5】 今後期待するサポート【設問6】
本取組をより良くするための 提言	自由意見（設問7）

## 2 アンケートの設計

- (1) アンケート対象：全パートナーグループ（263件、H23.3月登録分まで）
- (2) 調査主体：「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」実行委員会事務局
- (3) 調査方法：郵送及びE-mail（郵送89件、E-mail174件）
- (4) アンケート時期：第1回：H23.1～2月（対象：H21.5～H22.11月登録PG）  
第2回：H23.5～6月（対象：H22.12～H23.3月登録PG）
- (5) 回収数：198（回収率75.3%）（平成21年度92.8%）
- (6) 比率は全てパーセントで表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出したため、合計が100%にならないこともあります。

## 3 アンケートの結果

【設問1】「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組が行われていることを何でお知りになりましたか？（平成22年度登録パートナーグループへの設問）

（有効回数 67）

- ・市町職員または事務局職員など…………… 29（43.3%）
- ・県・市町広報誌…………… 14（20.9%）

- ・実行委員会広報誌…………… 11 (16.4%)
- ・新聞…………… 3 ( 4.5%)
- ・テレビ、ラジオ…………… 0 ( 0.0%)
- ・その他 (パートナーグループ等) …… 10 (14.9%)

【設問2】取組に参画して、グループの活動は充実したものになりましたか？

(有効回答数 160)

平成 21 年度

- ・ 充実した…………… 38 (23.8%) 38.6%
- ・ 概ね充実した…………… 73 (45.6%) 45.5%
- ・ どちらかといえば充実しなかった…………… 40 (25.0%) 5.0%
- ・ 充実しなかった…………… 9 ( 5.6%) 10.9%

【設問3-1】「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」のサポートメニューの満足度についてお聞かせください。

①プロデューサーのサポート (有効回答数 171)

平成 21 年度

- ・ 満足…………… 37 (21.6%) 30.6%
- ・ 概ね満足…………… 98 (57.3%) 54.5%
- ・ どちらかといえば不満足…………… 28 (16.4%) 14.2%
- ・ 不満足…………… 8 ( 4.7%) 0.7%

②実行委員会事務局のサポート

(有効回答数 177 平成 21 年度は設問なし)

- ・ 満足…………… 54 (30.5%)
- ・ 概ね満足…………… 100 (56.5%)
- ・ どちらかといえば不満足…………… 18 (10.2%)
- ・ 不満足…………… 5 ( 2.8%)

③他地域・異分野のグループ等とのネットワーク化支援

(有効回答数 119)

平成 21 年度

- ・ 満足…………… 18 (15.1%) 15.6%
- ・ 概ね満足…………… 51 (42.9%) 59.4%
- ・ どちらかといえば不満足…………… 37 (31.1%) 16.7%
- ・ 不満足…………… 13 (10.8%) 8.3%

④広報支援 (有効回答数 125)

平成 21 年度

- ・ 満足…………… 32 (25.6%) 24.6%
- ・ 概ね満足…………… 69 (55.2%) 52.6%
- ・ どちらかといえば不満足…………… 18 (14.4%) 14.0%
- ・ 不満足…………… 6 ( 4.8%) 8.8%

⑤専門家派遣（有効回答数 74 平成 21 年度は設問なし）

- ・ 満足…………… 28 (37.8%)
- ・ 概ね満足…………… 22 (29.7%)
- ・ どちらかといえば不満足…………… 19 (25.7%)
- ・ 不満足…………… 5 ( 6.8%)

⑥財政的支援（有効回答数 60 平成 21 年度は設問なし）

- ・ 満足…………… 8 (13.3%)
- ・ 概ね満足…………… 19 (31.7%)
- ・ どちらかといえば不満足…………… 14 (23.3%)
- ・ 不満足…………… 19 (31.7%)

【設問 3 - 2】育成研修（ファシリテーション研修及び広報・情報発信研修）について  
（新規設問）

①研修はご存知でしたか？（有効回答数 190）

- ・ 知っていて受講した…………… 32 (16.8%)
- ・ 知っていたが受講しなかった…………… 116 (61.1%)
- ・ 知らなかった…………… 42 (22.1%)

②受講しなかった理由

（①で「知っていたが受講しなかった」と回答された方のみ）

（有効回答数 107）

- ・ 開催時期に都合がつかなかった…………… 58 (54.2%)
- ・ 研修内容に魅力を感じなかった…………… 35 (32.7%)
- ・ 多忙のため受講する余裕が無かった…………… 14 (13.1%)

【設問 4】テーマに基づく取組を進めるにあたり全県的に・広域的に他のグループと連携して取り組みたいこと（主な意見）

- ・ 同じ目的を持つグループとの交流を図りたい。例えば、桑名の松平、津の藤堂、鳥羽の九鬼、伊賀の筒井、藤堂といったそれぞれの武将をテーマにしたまちづくりグループ等との連携、地域間交流によるまちづくりに資するようサポートしてほしい。
- ・ 郷土食を守っている方々と交流したい。地元食材を使ったメニューの提案・高付加価値商品化、健康をキーワードにレベルアップできる商品開発等と一緒に取り組めるグループと連携したい。
- ・ 海、川、森といった自然のほか、耕作放棄地、震災予防、ゴミ、地域の宝などをとりあげてほしい。余り絞り込まずに選択でき、この指とまれ式のグループ化がそろそろ必要ではないか。

※なお、テーマに基づく取組とは別に、他のグループとの交流という観点から、「地域を越えての交流は日常的には難しいですが、分野を越えては歡

迎で、色々な方とつながっていききたい。例えば、NPO法人等いろいろなグループを結び付けるような企画（異なる分野同士の結び付け、相互の情報交換）をしてほしい。」といった意見もありました。

【設問5】「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組に参画することで、新たに築くことのできたネットワークの件数を教えてください（グループ、個人を含む）

ネットワーク件数 167件	{	内、平成21年度登録グループ 141
		平成22年度登録グループ 26

（平成21年度アンケート ネットワーク件数 109）

【設問6】「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組で、今後期待するものはどのようなものでしょうか？（複数回答）

		平成21年度
・ 財政的支援……………	82 (41.4%)	47.2%
・ ネットワーク化支援……………	62 (31.3%)	43.7%
・ プロデューサーのサポート……………	60 (30.3%)	45.1%
・ 事務局職員のサポート……………	56 (28.2%)	—
・ 広報支援……………	55 (27.8%)	44.4%
・ 専門家派遣……………	45 (22.7%)	38.0%
・ 研修の受講……………	20 (10.1%)	19.0%

【設問7】自由意見（主な意見）

①取組方法関係

- ・ 県内各所を巡回し、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組展示、体験、物品販売などを行ってはどうか
- ・ 他県の先進的な取組や成功例、失敗例をもっと知りたい
- ・ パートナーグループの取組がしぼんでしまわないように、エネルギーを一つに束ねていくことが必要と考えます
- ・ 各市町にグループが気軽に立ち寄れる空家等を利用した場所が欲しい
- ・ 地域の人と大学生が交流を深めていけるシステム構築がしたい
- ・ 各地域に残る核となる組織（中間支援組織）の構築に期待します
- ・ 「やりたい人」が事業の中心となって創造的に事業を進める態勢をとるなど、市民参加型の事業運営が出来るようになると、継続性が生まれる可能性がある
- ・ 活動するにはお金が必要。この企画全部を補助金に回したほうがより活動が充実すると思います
- ・ 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」自体がわかりにくい。いったい何をすればいいのか？何をどうすればこんなことが出来ます、こんな支援が出来ます、誰にどう頼めば良いのかななどを教えていただけるともっと活動が広がる



②支援関係（財政的支援、育成研修、広報支援など）

- ・活動を自立・持続していくためにも財政的支援の増額が必要
- ・商店街活性化に成功した事例を基に研修事業を企画してほしい
- ・インターネットでの情報発信をどうしたら良いか指導をお願いしたい
- ・この事業を県内にとどまらず全国に様々な仕掛けを行って広報していく必要があるのではないか
- ・実行委員会の広報紙は専門用語が理解できず、わかりにくい
- ・様々な支援について具体的な活動報告や成功事例等を発信してはどうか

③ネットワーク関係

- ・個人同士のつながりの難しさを「仲人」していただきたい
- ・イベント参加して情報交換することにより、刺激を受けて自グループの活動に生かしていきたい
- ・プロデューサーの声掛けでグループ間のマッチングをコーディネートしてほしい
- ・旅行業者などとのマッチングをお願いしたい
- ・ワールドカフェなどで出会ったグループと、もう一段踏み込んだミーティングを設定していただけるとありがたい
- ・交流はいくらか盛んになりましたが、街中は人口も減り高齢化が進んでいてまだ成果は見えない

## 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」実行委員会規約

### (名称)

第1条 本会は、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

### (目的)

第2条 実行委員会は、地域の特色ある歴史的・文化的資源等を活用して取り組む地域づくりを基本に、多彩な催しを展開することにより、集客交流の拡大や地域の魅力・価値の向上をめざす取組である「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」を、多様な主体で推進し、自立・持続可能な地域づくりにつなげるものとする。

### (事業)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組の企画、運営、実施等を行う。

### (構成)

第4条 実行委員会は、役員及び委員をもって構成する。

### (役員)

第5条 実行委員会に、次の役員を置く。

- 一 会長 1名
- 二 副会長 若干名
- 三 監事 2名

### (役員及び委員の選任)

第6条 会長は、三重県知事がこれにあたり、その他の役員及び委員は、会長が委嘱する。

### (役員の職務)

第7条 会長は、会務を総理し、実行委員会を代表する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、あらかじめ会長が指定する順序によりその職務を代行する。
- 3 監事は、実行委員会の会計その他の事務を監査する。

### (役員及び委員の任期)

第8条 役員及び委員の任期は、実行委員会が解散するまでとする。

(会議)

第9条 実行委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長、副会長及び委員をもって構成し、会長が召集する。

- 2 会議は、会長が議長となり、次に掲げる事項を審議し、決定する。
  - 一 規約の制定及び改廃に関する事
  - 二 事業の基本的な計画策定に関する事
  - 三 事業の企画及び運営、実施の基本的な事項に関する事
  - 四 予算の制定及び決算の認定に関する事
  - 五 その他事業の重要な事項に関する事
- 3 会議は、会議の構成員の過半数の出席がなければ、これを開くことはできない。ただし、第1項に規定する者が会議に出席できないときは、その代理人が出席し、議事に加わることができる。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、構成員以外の者の出席を求めることができる。

(専決処分)

第10条 会長は、会議を招集する暇がないと認めるときは、前条第2項各号の事項を専決処分することができる。

- 2 会長は、前項の規定により専決処分をしたときは、次の会議にこれを報告し、その承認を受けなければならない。

(参与)

第11条 実行委員会に、参与を置くことができる。

- 2 参与は、会長が委嘱し、任期は実行委員会が解散するまでとする。
- 3 参与は、実行委員会の会議に出席し、意見を述べるることができる。

(幹事会)

第12条 実行委員会に、その業務を補佐するため、幹事会を置く。

- 2 幹事会は、幹事をもって構成し、会長がこれを委嘱する。
- 3 前2項に定めるもののほか、幹事会に関して必要な事項は、会長が別に定める。

(企画委員会)

第13条 実行委員会に、具体的な事業の企画・運営等を行うため、企画委員会を置くことができる。

- 2 企画委員会は、企画委員をもって構成し、会長が委嘱する。
- 3 前2項に定めるもののほか、企画委員会に関して必要な事項は、会長が別に定める。

(評価委員会)

第14条 実行委員会に、実行委員会の取組を検証・評価するため、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」評価委員会（以下「評価委員会」という。）を置く。

2 評価委員会は、評価委員をもって構成し、会長がこれを委嘱する。

3 前2項に定めるもののほか、評価委員会に関して必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第15条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費)

第16条 実行委員会の経費は、負担金、協賛金その他をもって充てる。

(会計年度)

第17条 実行委員会の事業及び会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日をもって終了する。

(解散)

第18条 実行委員会は、第3条の事業が完了したときに解散する。

(補則)

第19条 この規約に定めるもののほか、実行委員会の運営について必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

1 この規約は、平成20年2月21日から施行する。

2 実行委員会設立当初の会計年度は、第16条の規定にかかわらず、実行委員会設立の日から平成20年3月31日までとする。

附 則（平成22年5月27日一部改正）

1 この規約は、平成22年6月4日から施行する。

役職	名 前	所 属・職 名
会長	鈴木 英敬	三重県知事
副会長	亀井 利克	三重県市長会会長
	谷口 友見	三重県町村会会長
	竹林 武一	三重県商工会議所連合会会長
	森口 明好	社団法人三重県観光連盟会長
	若林 広幸	こころのふるさと三重を目指したイベント基本構想策定委員会委員長
委員	青木 民夫	三重県林業団体連絡協議会会長
	石谷 由里	NPO法人みどりの家理事長
	伊藤 準一	株式会社第三銀行代表取締役頭取
	上田 豪	株式会社百五銀行代表取締役頭取
	内田 淳正	国立大学法人三重大学学長
	大塚 由良美	桑名の千羽鶴を広める会顧問、桑名市博物館長
	奥野 長衛	三重県農業協同組合中央会会長
	金子 剛一	中日本高速道路株式会社代表取締役会長兼社長
	小泉 忠子	津市文化芸術団体連絡協議会理事
	小林 哲也	近畿日本鉄道株式会社取締役社長
	佐久間 裕之	三重県中小企業団体中央会会長
	佐藤 昭	学校法人梅村学園三重中京大学学長
	篠木 幸一	三重県商工会連合会副会長
	清水 潔	学校法人皇學館皇學館大学学長
	高橋 徹	NPO法人伊勢河崎まちづくり衆理事長
	高橋 幸照	こころのふるさと三重を目指したイベント基本構想策定委員会副委員長
	種橋 潤治	株式会社三重銀行取締役頭取
	土森 弘和	三重県労働者福祉協議会会長
	中澤 康哉	三重県信用金庫協会会長
	中野 潤三	学校法人享栄学園鈴鹿国際大学学長
	永富 洋一	三重県漁業協同組合連合会代表理事会長
	南部 美智代	こころのふるさと三重を目指したイベント基本構想策定委員会副委員長
	波野 豪	NPO法人地産地消ネットワークみえ理事長
	浜辺 佳子	農事組合法人伊賀の里モクモク手づくりファーム役員総合企画室キャプテン
	速水 亨	速水林業代表
	前田 衣代	鬼フェスタ実行委員会委員長
	牧田 孝	三重交通株式会社常務取締役
宗村 南男	学校法人暁学園四日市大学学長	
森下 達也	社会福祉法人三重県社会福祉協議会会長	

役職	名 前	所 属・職 名
監事	大倉 令資	三重県都市会計管理者協議会会長
	山本 浩和	三重県会計管理者兼出納局長
参与	浅井 学	株式会社JTB中部津支店支店長
	厚地 純夫	東海旅客鉄道株式会社営業本部長
	大野 哲也	株式会社農協観光東海統括事業部長
	織田 貞生	社団法人全国旅行業協会三重県支部支部長
	小高 直弘	株式会社観光販売システムズ代表取締役専務
	高西 善一郎	株式会社日本旅行執行役員中部営業本部本部長
	橋上 猛	三交旅行株式会社代表取締役専務
	前田 公廣	近畿日本ツーリスト株式会社中部営業本部本部長
	松井 信丈	トップツアー株式会社中部国内旅行センターセンター長
	三浦 芳紀	名鉄観光サービス株式会社常務取締役商品事業本部長
	渡邊 禎男	株式会社ジェイアール東海ツアーズ取締役中部営業部長

## 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」実行委員会評価委員会規程

### (趣 旨)

第1条 この規程は、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」実行委員会規約第14条第3項の規定に基づき、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」実行委員会評価委員会（以下「評価委員会」という。）の運営に関し必要な事項を定める。

### (構 成)

第2条 評価委員会は、評価委員7人をもって構成する。

### (選任及び任期)

第3条 評価委員は、学識経験のある者のうちから、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」実行委員会会長が委嘱する。

- 2 評価委員の任期は、2年とする。
- 3 評価委員は、再任されることができる。

### (委員長)

第4条 評価委員会に委員長を置き、評価委員の互選により選任する。

- 2 評価委員長は、会務を総理し、評価委員会を代表する。
- 3 評価委員長に事故あるときは、あらかじめ指名する評価委員が、その職務を代行する。

### (所掌事項)

第5条 評価委員会は、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」実行委員会（以下「実行委員会」という。）の取組を検証・評価し、その結果を実行委員会に報告する。

### (会 議)

第6条 評価委員会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じ評価委員長が招集し、会議の議長は、評価委員長がこれにあたる。

- 2 会議は、評価委員の過半数の出席がなければ、これを開くことはできない。
- 3 会議の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 評価委員長は、必要があると認めるときは、構成員以外の者の出席を求めることができる。

### (報償費等)

第7条 評価委員には、会議への出席に対して、1回あたり9,900円の報償費を支給する。

- 2 評価委員には、会議への出席に対して、実行委員会旅費規程に基づき、旅費を支給する。

(庶務)

第9条 評価委員会の庶務は、実行委員会事務局において処理する。

(補則)

第10条 この規程に定めるもののほか、評価委員会の運営について必要な事項は評価委員長が定める。

附則

この規程は、平成22年 6月11日から施行する。



「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」評価委員会評価委員名簿

【50音順、敬称略】

お名前	所 属・役 職	職 種	備 考
伊賀 恵	ふりはた綜合法律事務所	弁護士	
岩崎 恭典	四日市大学 総合政策学部教授	大学教授	
亀山 裕美子	三重大学 大学院工学研究科「美し国 おこし・三重さきもり塾」 産学連携コーディネーター	地域づくり実践者	
辻村 勝則	伊賀まちかど博物館推進委員会 元代表	地域づくり実践者	
朴 恵淑	三重大学 副学長	大学教授	
松本 美穂	NPO法人コミュニティ・ シンクタンク評価みえ 代表理事	シンクタンク	
山中 利之	五十鈴監査法人 総括代表社員	公認会計士	委員長

「三重県地域づくり推進条例」第5条に基づく  
地域づくり実施状況報告書  
<2010年度（平成22年度）版>

2011年（平成23年）9月発行

三重県政策部地域づくり支援室

TEL 059-224-2420 FAX 059-224-2418 E-mail [chiiki@pref.mie.jp](mailto:chiiki@pref.mie.jp)

三重県政策部「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」推進室

TEL 059-224-2644 FAX 059-224-2075 E-mail [umashi@pref.mie.jp](mailto:umashi@pref.mie.jp)

〒514-8570 三重県津市広明町13番地